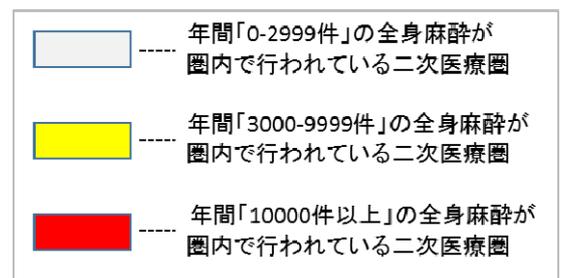
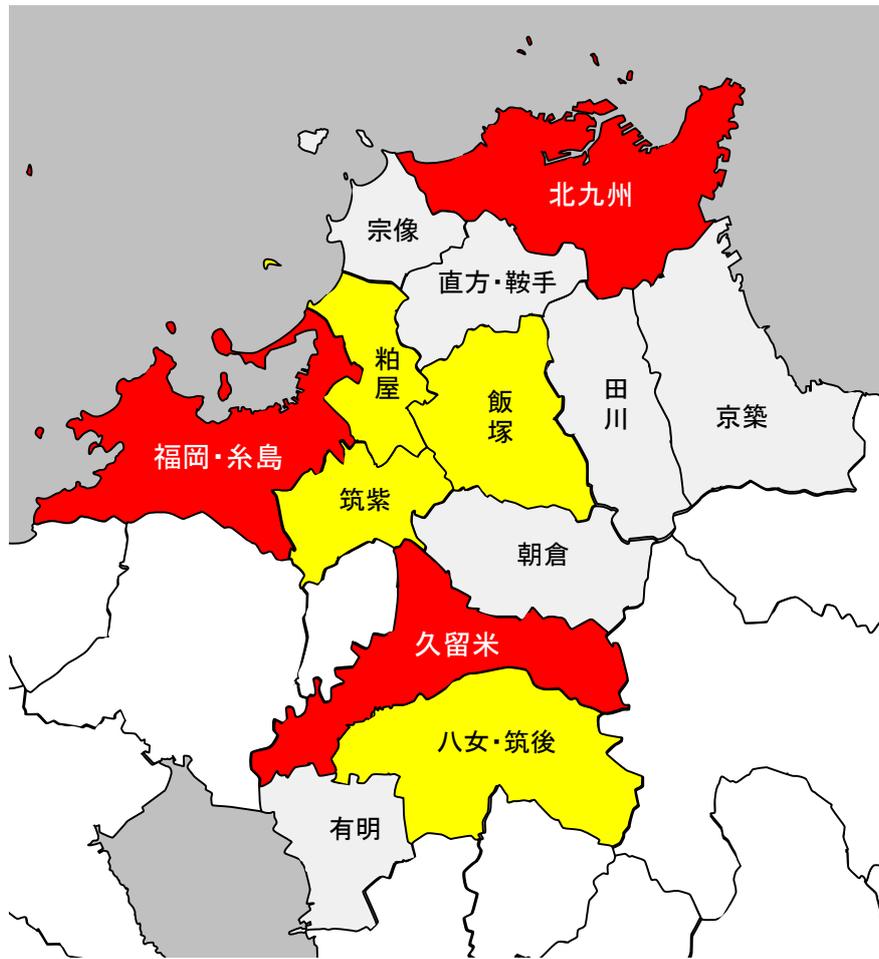


# 40. 福岡県



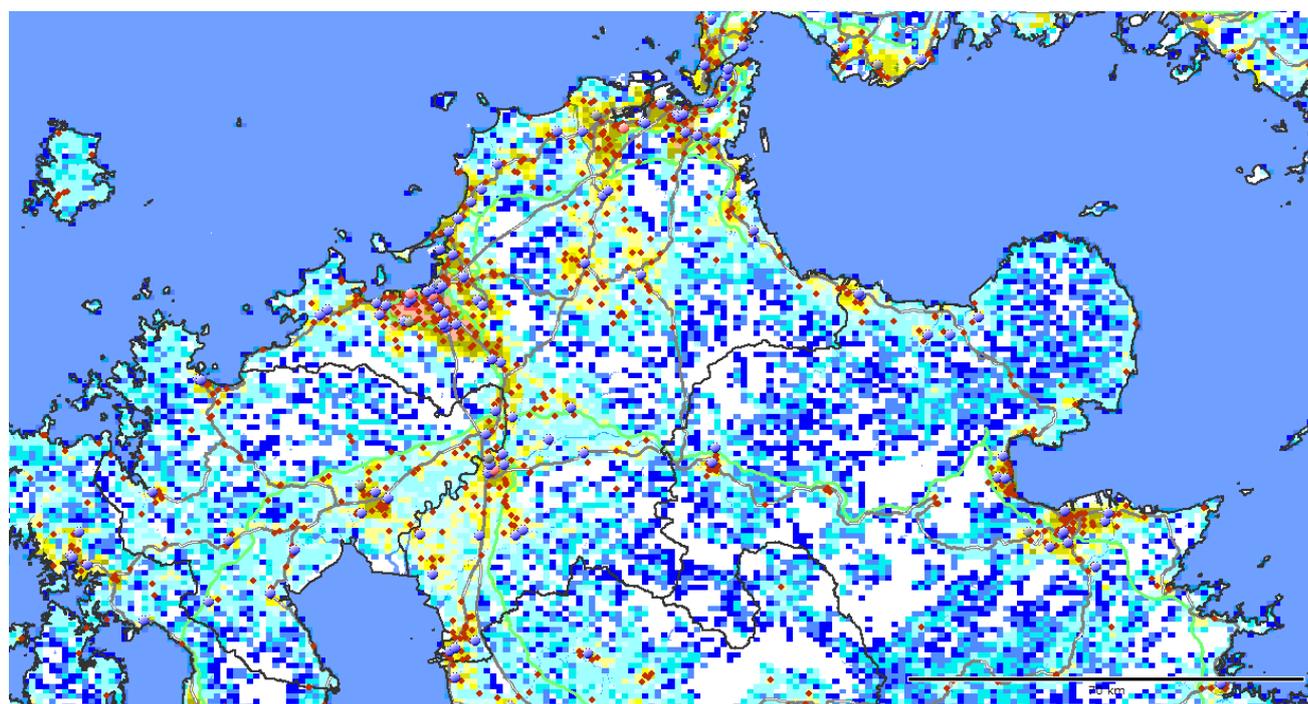
## 40. 福岡県

### 目次

福岡県.....	40 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	40 - 7
1. 福岡・糸島医療圏.....	40 - 19
2. 粕屋医療圏.....	40 - 23
3. 宗像医療圏.....	40 - 27
4. 筑紫医療圏.....	40 - 31
5. 朝倉医療圏.....	40 - 35
6. 久留米医療圏.....	40 - 39
7. 八女・筑後医療圏.....	40 - 43
8. 有明医療圏.....	40 - 47
9. 飯塚医療圏.....	40 - 51
10. 直方・鞍手医療圏.....	40 - 55
11. 田川医療圏.....	40 - 59
12. 北九州医療圏.....	40 - 63
13. 京築医療圏.....	40 - 67

# 40. 福岡県

人口分布<sup>1</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 福岡県を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (福岡県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 福岡県は、総人口約 5046 千人(2015 年推計)、面積 4977 km<sup>2</sup>、人口密度は 1014 人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 福岡県の総人口は 2025 年に 4856 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 4379 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 648 千人が、2025 年にかけて 869 千人へと増加し(2015 年比+34%)、2040 年には 916 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 福岡県の一人当たり医療費(国保)は 338 千円(偏差値 57)、介護給付費は 261 千円(偏差値 53)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 福岡県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.2、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.7 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 56(病院医師数 56、診療所医師数 54)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 57 と多い。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 58 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 57 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 福岡県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、68740 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 39985 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 28755 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、50575 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 51、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 56、有料老人ホーム 54、軽費ホーム 51、グループホーム 56、サ高住 50 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 60 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 55 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、9597 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は66058床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は64700床であり、その差は-1358床(-2%)である。

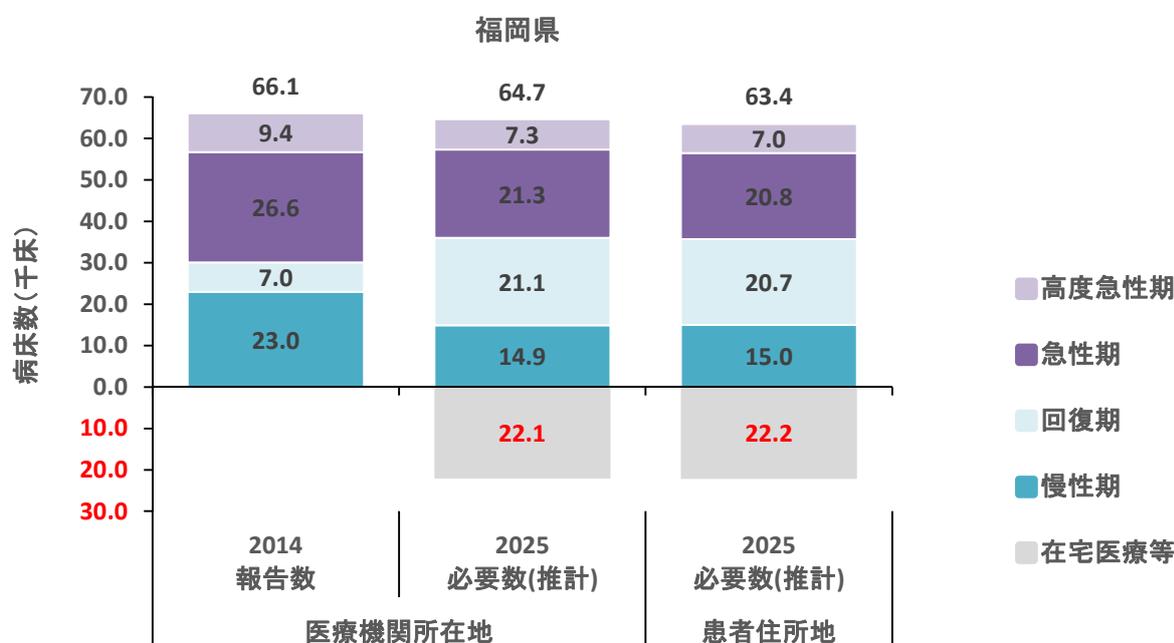
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は9397床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は7300床であり、その差は-2097床(-22%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は26622床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は21300床であり、その差は-5322床(-20%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は7040床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は21100床であり、その差は+14060床(+200%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は22999床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は14900床であり、その差は-8099床(-35%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は22100人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+14%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-21%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

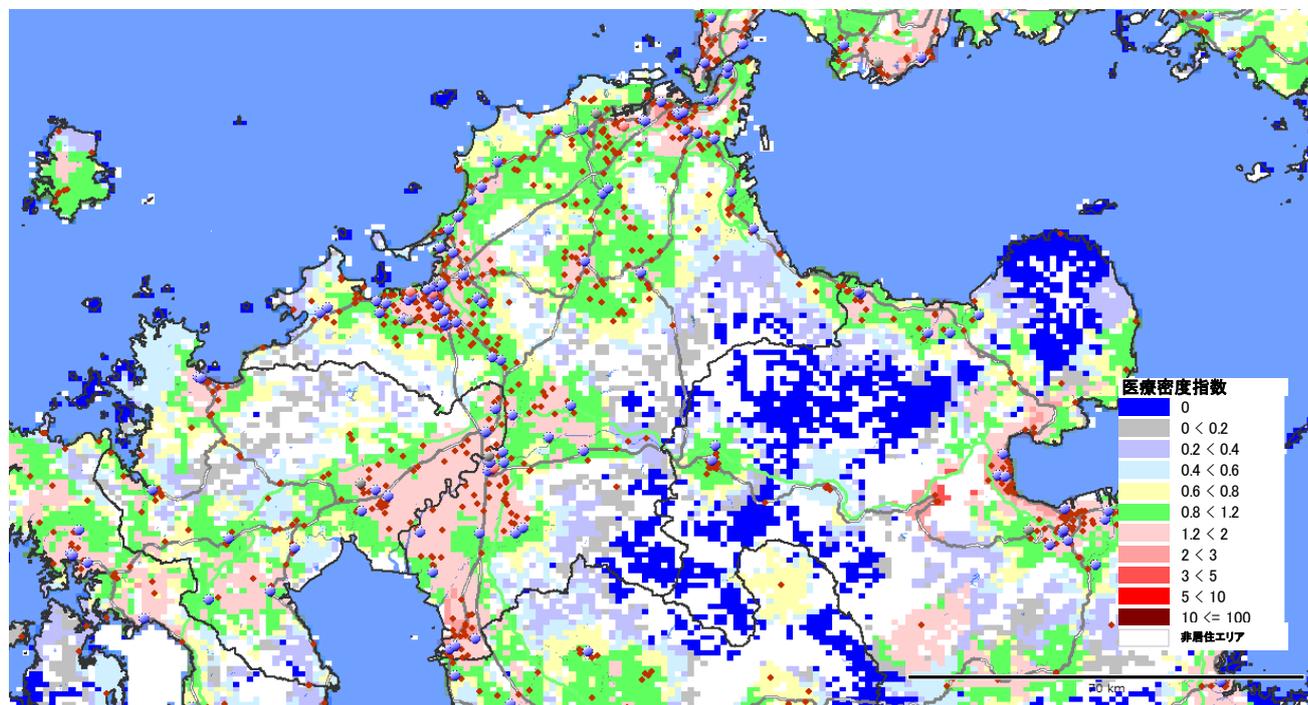
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

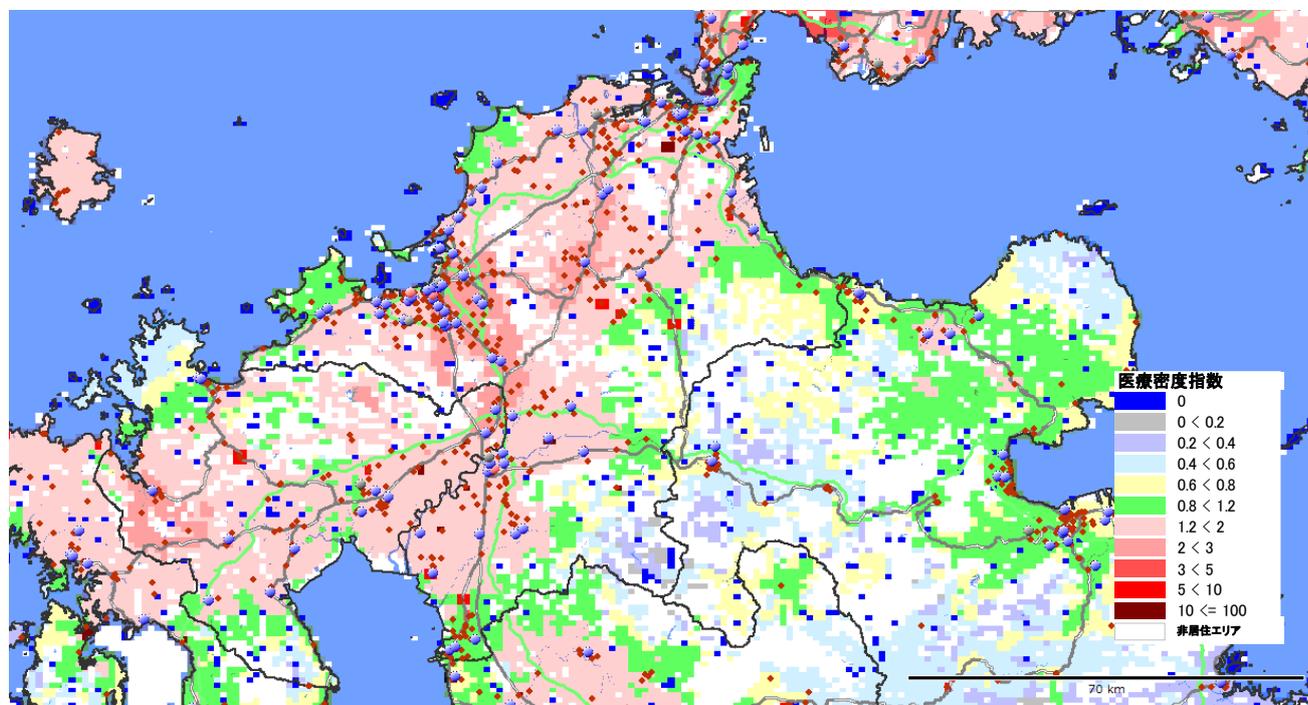
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 40-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
福岡県	5,046	9位	4,977	29位	1,013.7		26%	4,856	4,379	648	869	916	-4%	-10%	34%	5%
福岡・糸島	1,596	32%	557	11%	2,863.4	大都市型	22%	1,603	1,522	164	245	293	0%	-5%	49%	20%
粕屋	280	6%	207	4%	1,356.6	地方都市型	22%	286	282	27	41	45	2%	-1%	52%	10%
宗像	150	3%	172	3%	870.4	地方都市型	28%	144	128	20	28	30	-4%	-11%	40%	7%
筑紫	428	8%	233	5%	1,832.8	地方都市型	22%	426	403	42	64	75	0%	-5%	52%	17%
朝倉	84	2%	366	7%	230.9	地方都市型	31%	77	64	14	16	16	-8%	-17%	14%	0%
久留米	451	9%	468	9%	963.5	地方都市型	27%	425	371	61	78	82	-6%	-13%	28%	5%
八女・筑後	134	3%	562	11%	237.6	地方都市型	30%	124	107	21	25	25	-7%	-14%	19%	0%
有明	222	4%	264	5%	843.2	地方都市型	34%	195	155	40	45	41	-12%	-21%	13%	-9%
飯塚	181	4%	369	7%	490.3	地方都市型	30%	166	141	28	34	32	-8%	-15%	21%	-6%
直方・鞍手	109	2%	252	5%	431.8	地方都市型	33%	98	81	18	22	20	-10%	-17%	22%	-9%
田川	128	3%	364	7%	351.3	地方都市型	33%	114	94	22	25	21	-11%	-18%	14%	-16%
北九州	1,098	22%	597	12%	1,839.0	大都市型	30%	1,028	888	164	213	204	-6%	-14%	30%	-4%
京築	185	4%	566	11%	326.4	地方都市型	30%	170	144	28	34	32	-8%	-15%	21%	-6%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

<sup>1</sup>日医総研WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

40. 福岡県

資\_図表 40-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり急性期医療密度指数	一人当たり慢性期医療密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
福岡県	1.20	1.70	14.5%	-14.7%	-20.8%
福岡・糸島	1.25	1.82	8.0%	-36.8%	-63.8%
粕屋	1.12	1.81	13.1%	-31.7%	-45.5%
宗像	0.96	1.69	-4.0%	-45.5%	-53.3%
筑紫	1.02	1.99	4.0%	-46.9%	-71.4%
朝倉	0.94	2.11	6.9%	-12.2%	-12.8%
久留米	1.18	1.69	-2.0%	-31.5%	-37.0%
八女・筑後	1.05	2.19	9.0%	-5.0%	-6.4%
有明	1.52	1.20	8.1%	-2.7%	6.4%
飯塚	1.06	1.62	22.4%	6.7%	11.5%
直方・鞍手	0.84	1.58	33.0%	20.7%	28.4%
田川	0.93	1.89	44.8%	37.4%	45.6%
北九州	1.39	1.90	5.3%	-23.3%	-18.1%
京築	0.74	1.60	24.5%	5.9%	11.3%
出典	<p>&lt;一人当たり急性期医療密度指数&gt;&lt;一人当たり慢性期医療密度指数&gt;その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。</p> <p>&lt;75歳以上介護充足度指数&gt;高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。</p>				

資\_図表 40-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
福岡県	338	57	261	53
福岡・糸島	312	50	263	53
粕屋	329	55	227	44
宗像	340	57	237	46
筑紫	312	51	231	45
朝倉	342	58	273	56
久留米	352	60	264	54
八女・筑後	342	58	258	52
有明	379	67	289	60
飯塚	349	59	316	68
直方・鞍手	368	64	273	56
田川	332	55	279	58
北九州	364	63	270	55
京築	383	68	238	47
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 40-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
福岡県	464	5.4%	9.2	56	4,564	4.5%	90	56
福岡・糸島	124	27%	7.8	52	1,548	34%	97	59
粕屋	26	6%	9.3	56	160	4%	57	39
宗像	14	3%	9.3	56	112	2%	75	48
筑紫	28	6%	6.5	50	284	6%	66	43
朝倉	8	2%	9.5	57	73	2%	86	54
久留米	49	11%	10.9	60	444	10%	99	60
八女・筑後	14	3%	10.5	59	117	3%	88	54
有明	33	7%	14.8	69	220	5%	99	60
飯塚	22	5%	12.1	63	171	4%	94	58
直方・鞍手	12	3%	11.0	60	99	2%	91	56
田川	16	3%	12.5	64	110	2%	86	53
北九州	103	22%	9.4	56	1,066	23%	97	59
京築	15	3%	8.1	53	160	4%	87	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

40. 福岡県

資\_図表 40-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
福岡県	4,564	4.5%	90	56	3,885	4.3%	77	53	679	7.3%	13.5	59
福岡・糸島	1,548	34%	97	59	1,358	35%	85	57	190	28%	11.9	57
粕屋	160	4%	57	39	140	4%	50	38	20	3%	7.1	50
宗像	112	2%	75	48	92	2%	61	44	20	3%	13.3	59
筑紫	284	6%	66	43	242	6%	57	42	42	6%	9.8	54
朝倉	73	2%	86	54	64	2%	76	52	9	1%	10.7	55
久留米	444	10%	99	60	352	9%	78	53	92	14%	20.4	69
八女・筑後	117	3%	88	54	100	3%	75	51	17	3%	12.7	58
有明	220	5%	99	60	173	4%	78	53	47	7%	21.1	70
飯塚	171	4%	94	58	137	4%	76	52	34	5%	18.8	66
直方・鞍手	99	2%	91	56	86	2%	79	54	13	2%	12.0	57
田川	110	2%	86	53	89	2%	70	49	21	3%	16.4	63
北九州	1,066	23%	97	59	917	24%	84	56	149	22%	13.6	59
京築	160	4%	87	54	135	3%	73	51	25	4%	13.5	59
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 40-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
福岡県	86,479	5.5%	1,714	59	9,341	7.7%	185	58	95,820	5.7%	1,899	60
福岡・糸島	22,751	26%	1,425	54	2,402	26%	150	55	25,153	26%	1,576	54
粕屋	4,669	5%	1,665	58	301	3%	107	51	4,970	5%	1,772	58
宗像	2,513	3%	1,675	58	276	3%	184	58	2,789	3%	1,859	59
筑紫	4,959	6%	1,159	48	649	7%	152	55	5,608	6%	1,311	50
朝倉	1,414	2%	1,674	58	139	1%	165	56	1,553	2%	1,839	59
久留米	9,174	11%	2,035	66	1,323	14%	294	68	10,497	11%	2,329	67
八女・筑後	2,339	3%	1,751	60	191	2%	143	54	2,530	3%	1,893	60
有明	5,932	7%	2,669	78	687	7%	309	69	6,619	7%	2,978	78
飯塚	3,902	5%	2,155	68	542	6%	299	68	4,444	5%	2,454	69
直方・鞍手	1,978	2%	1,821	61	183	2%	168	57	2,161	2%	1,990	61
田川	3,266	4%	2,556	76	331	4%	259	65	3,597	4%	2,815	76
北九州	20,953	24%	1,909	63	2,002	21%	182	58	22,955	24%	2,091	63
京築	2,629	3%	1,422	54	315	3%	170	57	2,944	3%	1,592	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 40-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
福岡県	43,257	4.8%	857	56	21,358	6.5%	423	58	21,523	6.3%	427	57
福岡・糸島	13,044	30%	817	55	5,196	24%	326	53	4,431	21%	278	50
粕屋	2,102	5%	750	52	1,485	7%	530	63	1,026	5%	366	54
宗像	814	2%	543	43	731	3%	487	61	968	4%	645	67
筑紫	2,081	5%	487	40	1,565	7%	366	55	1,311	6%	306	52
朝倉	608	1%	720	50	448	2%	530	63	358	2%	424	57
久留米	4,883	11%	1,083	66	2,236	10%	496	61	2,049	10%	455	59
八女・筑後	1,048	2%	784	53	825	4%	617	67	464	2%	347	54
有明	2,909	7%	1,309	76	1,281	6%	576	65	1,692	8%	761	73
飯塚	2,385	6%	1,317	76	588	3%	325	53	929	4%	513	61
直方・鞍手	674	2%	621	46	511	2%	470	60	730	3%	672	68
田川	1,019	2%	798	54	323	2%	253	50	1,916	9%	1,500	106
北九州	10,967	25%	999	63	5,205	24%	474	60	4,707	22%	429	57
京築	723	2%	391	36	964	5%	521	62	942	4%	510	61
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 40-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>3</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
福岡県	4,554	6.1%	90	57	2,941	13.9%	58	55
福岡・糸島	1,517	33%	95	58	1,024	35%	64	56
粕屋	164	4%	58	50	78	3%	28	48
宗像	49	1%	33	44	137	5%	91	63
筑紫	209	5%	49	48	55	2%	13	45
朝倉	88	2%	104	60	91	3%	108	66
久留米	609	13%	135	66	116	4%	26	48
八女・筑後	136	3%	102	59	210	7%	157	77
有明	296	6%	133	66	146	5%	66	57
飯塚	118	3%	65	51	229	8%	126	70
直方・鞍手	91	2%	84	55	50	2%	46	52
田川	61	1%	48	48	4	0%	3	43
北九州	1,035	23%	94	58	781	27%	71	58
京築	181	4%	98	58	20	1%	11	44
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会の独自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

<sup>3</sup>福岡県越後厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除外して計算している。

40. 福岡県

資\_図表 40-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
福岡県	136,500	5.3%	2,705	57	44,796	4.2%	888	52
福岡・糸島	55,020	40%	3,447	65	14,736	33%	923	53
粕屋	3,384	2%	1,207	41	1,860	4%	663	44
宗像	1,272	1%	848	37	1,560	3%	1,040	57
筑紫	6,600	5%	1,543	45	3,768	8%	881	51
朝倉	996	1%	1,179	41	852	2%	1,009	56
久留米	16,692	12%	3,704	68	5,148	11%	1,142	60
八女・筑後	3,264	2%	2,443	54	1,176	3%	880	51
有明	2,880	2%	1,296	42	2,088	5%	940	53
飯塚	6,960	5%	3,843	69	2,292	5%	1,266	65
直方・鞍手	684	1%	630	35	456	1%	420	36
田川	1,332	1%	1,043	40	756	2%	592	42
北九州	35,700	26%	3,252	63	8,700	19%	792	48
京築	1,716	1%	928	38	1,404	3%	759	47
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 40-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
福岡県	15,803	4.8%	313	56	10,338	5.0%	205	56	5,464	4.5%	108	54
福岡・糸島	5,699	36%	357	61	3,649	35%	229	60	2,050	38%	128	61
粕屋	559	4%	199	43	365	4%	130	45	194	4%	69	41
宗像	300	2%	200	43	177	2%	118	43	123	2%	82	45
筑紫	922	6%	216	45	563	5%	132	45	359	7%	84	46
朝倉	206	1%	244	48	112	1%	133	45	94	2%	111	55
久留米	1,893	12%	420	68	1,386	13%	307	72	508	9%	113	55
八女・筑後	324	2%	243	48	201	2%	151	48	123	2%	92	49
有明	680	4%	306	55	412	4%	185	53	268	5%	121	58
飯塚	670	4%	370	62	487	5%	269	66	182	3%	101	52
直方・鞍手	246	2%	227	46	139	1%	128	45	108	2%	99	51
田川	314	2%	246	48	194	2%	151	48	121	2%	94	49
北九州	3,640	23%	332	58	2,481	24%	226	60	1,159	21%	106	53
京築	349	2%	189	42	172	2%	93	39	177	3%	96	50
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 40-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
福岡県	59,017	5.5%	1,170	61	48,992	5.5%	971	61	10,025	5.5%	199	58
福岡・糸島	18,457	31%	1,156	61	14,883	30%	932	60	3,574	36%	224	61
粕屋	2,758	5%	983	55	2,250	5%	802	54	508	5%	181	55
宗像	1,370	2%	913	52	1,113	2%	742	52	257	3%	171	54
筑紫	3,136	5%	733	46	2,512	5%	587	45	624	6%	146	50
朝倉	903	2%	1,069	58	728	1%	862	57	175	2%	208	59
久留米	6,133	10%	1,361	68	5,222	11%	1,159	69	911	9%	202	58
八女・筑後	1,651	3%	1,235	64	1,353	3%	1,013	63	297	3%	223	61
有明	3,349	6%	1,507	73	2,872	6%	1,293	75	477	5%	215	60
飯塚	2,871	5%	1,586	76	2,314	5%	1,278	74	557	6%	308	72
直方・鞍手	1,253	2%	1,154	61	955	2%	879	57	298	3%	274	68
田川	1,646	3%	1,288	65	1,427	3%	1,117	67	219	2%	171	54
北九州	13,829	23%	1,260	64	12,044	25%	1,097	66	1,785	18%	163	53
京築	1,662	3%	899	52	1,318	3%	713	50	343	3%	186	56
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 40-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
福岡県	7,734	6.9%	153	63	10,880	3.9%	216	49
福岡・糸島	2,307	30%	145	61	4,200	39%	263	54
粕屋	410	5%	146	62	414	4%	148	42
宗像	172	2%	115	55	227	2%	151	43
筑紫	390	5%	91	51	773	7%	181	46
朝倉	127	2%	150	63	147	1%	174	45
久留米	959	12%	213	75	1,024	9%	227	51
八女・筑後	258	3%	193	71	229	2%	171	45
有明	526	7%	236	80	419	4%	189	47
飯塚	353	5%	195	72	364	3%	201	48
直方・鞍手	109	1%	100	52	180	2%	166	44
田川	142	2%	111	55	229	2%	179	46
北九州	1,762	23%	161	65	2,348	22%	214	49
京築	220	3%	119	56	326	3%	176	45
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

40. 福岡県

資\_図表 40-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
福岡県	872	6.1%	1.3	60	59	5.7%	0.1	55
福岡・糸島	247	28%	1.5	64	14	24%	0.1	54
粕屋	29	3%	1.1	54	5	8%	0.2	71
宗像	20	2%	1.0	53	2	3%	0.1	56
筑紫	45	5%	1.1	55	7	12%	0.2	68
朝倉	34	4%	2.5	86	1	2%	0.1	52
久留米	108	12%	1.8	70	5	8%	0.1	53
八女・筑後	39	4%	1.8	71	1	2%	0.0	47
有明	52	6%	1.3	59	2	3%	0.1	48
飯塚	20	2%	0.7	47	4	7%	0.1	64
直方・鞍手	20	2%	1.1	55	0	0%	0	39
田川	17	2%	0.8	48	1	2%	0.0	47
北九州	211	24%	1.3	59	14	24%	0.1	54
京築	30	3%	1.1	55	3	5%	0.1	58
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 40-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
福岡県	68,740	4.4%	106	56	39,985	4.1%	62	52	28,755	4.7%	44	55
福岡・糸島	17,795	26%	108	58	9,067	23%	55	47	8,728	30%	53	61
粕屋	2,964	4%	109	58	1,832	5%	68	57	1,132	4%	42	53
宗像	1,782	3%	89	46	1,095	3%	55	47	687	2%	34	48
筑紫	4,291	6%	103	54	2,262	6%	54	46	2,029	7%	49	58
朝倉	1,428	2%	105	56	1,070	3%	79	66	358	1%	26	43
久留米	5,440	8%	90	46	3,232	8%	53	46	2,208	8%	36	50
八女・筑後	2,168	3%	101	53	1,475	4%	69	58	693	2%	32	47
有明	4,025	6%	101	53	2,861	7%	72	60	1,164	4%	29	45
飯塚	3,424	5%	123	67	2,179	5%	78	65	1,245	4%	45	55
直方・鞍手	2,683	4%	147	81	1,280	3%	70	59	1,403	5%	77	78
田川	3,473	5%	159	89	2,191	5%	100	82	1,282	4%	59	65
北九州	15,920	23%	97	51	9,452	24%	58	49	6,468	22%	40	52
京築	3,347	5%	121	66	1,989	5%	72	60	1,358	5%	49	59
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 40-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム （特養） 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
福岡県	14,329	4.0%	22	51	21,412	4.0%	33	50	4,244	6.1%	6.5	56
福岡・糸島	2,941	21%	18	43	5,250	25%	32	49	876	21%	5.3	53
粕屋	585	4%	22	50	655	3%	24	42	592	14%	21.8	92
宗像	345	2%	17	42	441	2%	22	39	309	7%	15.4	77
筑紫	560	4%	13	35	1,077	5%	26	43	625	15%	15.0	76
朝倉	470	3%	35	72	600	3%	44	61	0	0%	0	40
久留米	1,260	9%	21	48	1,591	7%	26	44	381	9%	6.3	55
八女・筑後	600	4%	28	61	875	4%	41	58	0	0%	0	40
有明	1,158	8%	29	63	1,384	6%	35	52	319	8%	8.0	59
飯塚	810	6%	29	63	1,252	6%	45	62	117	3%	4.2	50
直方・鞍手	614	4%	34	71	520	2%	28	46	146	3%	8.0	59
田川	780	5%	36	74	1,360	6%	62	79	51	1%	2.3	45
北九州	3,328	23%	20	48	5,336	25%	33	50	788	19%	4.8	51
京築	878	6%	32	68	1,071	5%	39	56	40	1%	1.5	43
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
福岡県	10,889	5.2%	16.8	54	908	4.4%	1.4	51	9,412	5.0%	14.5	56
福岡・糸島	4,043	37%	24.6	62	88	10%	0.5	46	1,891	20%	11.5	50
粕屋	449	4%	16.5	54	40	4%	1.5	51	333	4%	12.3	52
宗像	326	3%	16.2	54	0	0%	0	43	189	2%	9.4	47
筑紫	858	8%	20.5	58	50	6%	1.2	50	453	5%	10.8	49
朝倉	43	0%	3.2	40	0	0%	0	43	126	1%	9.3	46
久留米	443	4%	7.3	45	60	7%	1.0	49	1,269	13%	20.9	67
八女・筑後	124	1%	5.8	43	0	0%	0	43	396	4%	18.4	63
有明	286	3%	7.2	44	0	0%	0	43	492	5%	12.3	52
飯塚	278	3%	9.9	47	80	9%	2.9	59	435	5%	15.6	58
直方・鞍手	446	4%	24.4	62	100	11%	5.5	72	423	4%	23.1	71
田川	312	3%	14.3	52	50	6%	2.3	56	774	8%	35.5	93
北九州	2,636	24%	16.1	53	340	37%	2.1	54	2,263	24%	13.8	54
京築	645	6%	23.4	61	100	11%	3.6	63	368	4%	13.4	54
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

40. 福岡県

資\_図表 40-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	サ高住 （全施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 （非特定 施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
福岡県	7,546	4.0%	11.6	50	70	0.7%	0.1	46	7,476	4.1%	11.5	51
福岡・糸島	2,706	36%	16.5	58	0	0%	0	45	2,706	36%	16.5	59
粕屋	310	4%	11.4	50	0	0%	0	45	310	4%	11.4	51
宗像	172	2%	8.6	45	0	0%	0	45	172	2%	8.6	46
筑紫	668	9%	16.0	57	0	0%	0	45	668	9%	16.0	59
朝倉	189	3%	13.9	54	0	0%	0	45	189	3%	13.9	55
久留米	436	6%	7.2	43	0	0%	0	45	436	6%	7.2	44
八女・筑後	173	2%	8.1	44	0	0%	0	45	173	2%	8.1	45
有明	386	5%	9.7	47	0	0%	0	45	386	5%	9.7	48
飯塚	452	6%	16.2	57	0	0%	0	45	452	6%	16.2	59
直方・鞍手	434	6%	23.7	70	70	100%	3.8	76	364	5%	19.9	65
田川	146	2%	6.7	42	0	0%	0	45	146	2%	6.7	43
北九州	1,229	16%	7.5	44	0	0%	0	45	1,229	16%	7.5	44
京築	245	3%	8.9	46	0	0%	0	45	245	3%	8.9	46
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
福岡県	7,003	4.6%	10.8	56	5,254	4.5%	8.1	55	1,749	4.7%	2.7	55
福岡・糸島	1,837	26%	11.2	57	1,300	25%	7.9	54	537	31%	3.3	62
粕屋	446	6%	16.4	78	366	7%	13.5	78	80	5%	2.9	58
宗像	216	3%	10.8	56	170	3%	8.5	56	46	3%	2.3	50
筑紫	450	6%	10.8	56	327	6%	7.8	53	123	7%	2.9	58
朝倉	118	2%	8.7	48	101	2%	7.4	52	18	1%	1.3	38
久留米	606	9%	10.0	53	431	8%	7.1	50	175	10%	2.9	58
八女・筑後	175	3%	8.2	45	144	3%	6.7	49	31	2%	1.5	40
有明	481	7%	12.0	61	389	7%	9.7	62	92	5%	2.3	50
飯塚	337	5%	12.1	61	262	5%	9.4	60	75	4%	2.7	55
直方・鞍手	207	3%	11.3	58	175	3%	9.5	61	32	2%	1.8	44
田川	290	4%	13.3	66	208	4%	9.5	61	82	5%	3.8	69
北九州	1,521	22%	9.3	50	1,127	21%	6.9	49	394	22%	2.4	52
京築	321	5%	11.6	59	256	5%	9.3	60	65	4%	2.3	51
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
福岡県	60,172	4.2%	93	53	50,575	4.1%	78	52	9,597	4.4%	14.8	53
福岡・糸島	14,935	25%	91	52	12,398	25%	75	50	2,537	26%	15.4	54
粕屋	2,373	4%	87	50	2,084	4%	77	51	289	3%	10.7	45
宗像	1,580	3%	79	44	1,405	3%	70	47	175	2%	8.7	42
筑紫	3,374	6%	81	45	2,863	6%	69	46	510	5%	12.2	48
朝倉	1,205	2%	89	50	1,131	2%	83	56	75	1%	5.5	36
久留米	5,564	9%	92	52	4,900	10%	81	54	664	7%	10.9	46
八女・筑後	1,989	3%	93	53	1,805	4%	84	56	184	2%	8.6	41
有明	4,449	7%	111	65	3,485	7%	87	59	963	10%	24.1	70
飯塚	2,901	5%	104	60	2,346	5%	84	56	555	6%	19.8	62
直方・鞍手	1,954	3%	107	62	1,662	3%	91	61	292	3%	16.0	55
田川	3,098	5%	142	84	2,365	5%	108	73	733	8%	33.6	87
北九州	14,334	24%	88	50	12,013	24%	73	49	2,321	24%	14.2	52
京築	2,416	4%	88	50	2,116	4%	77	51	300	3%	10.9	46
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 40-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
福岡県	29,148	4.0%	45	50	10,032	2.9%	15	44	63,493	4.5%	98	54
福岡・糸島	11,145	38%	68	60	3,307	33%	20	49	16,214	26%	99	54
粕屋	1,101	4%	41	48	529	5%	19	48	1,426	2%	53	39
宗像	401	1%	20	40	184	2%	9	37	1,287	2%	64	43
筑紫	1,472	5%	35	46	668	7%	16	44	3,315	5%	79	48
朝倉	569	2%	42	49	73	1%	5	33	555	1%	41	35
久留米	2,061	7%	34	46	827	8%	14	42	3,674	6%	61	41
八女・筑後	780	3%	36	47	135	1%	6	34	900	1%	42	35
有明	1,464	5%	37	47	520	5%	13	41	2,761	4%	69	44
飯塚	1,540	5%	55	54	436	4%	16	44	3,815	6%	137	66
直方・鞍手	630	2%	34	46	144	1%	8	35	1,809	3%	99	54
田川	524	2%	24	42	505	5%	23	52	4,789	8%	219	94
北九州	5,217	18%	32	45	2,395	24%	15	43	21,235	33%	130	64
京築	2,244	8%	81	65	309	3%	11	39	1,713	3%	62	42
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

40. 福岡県

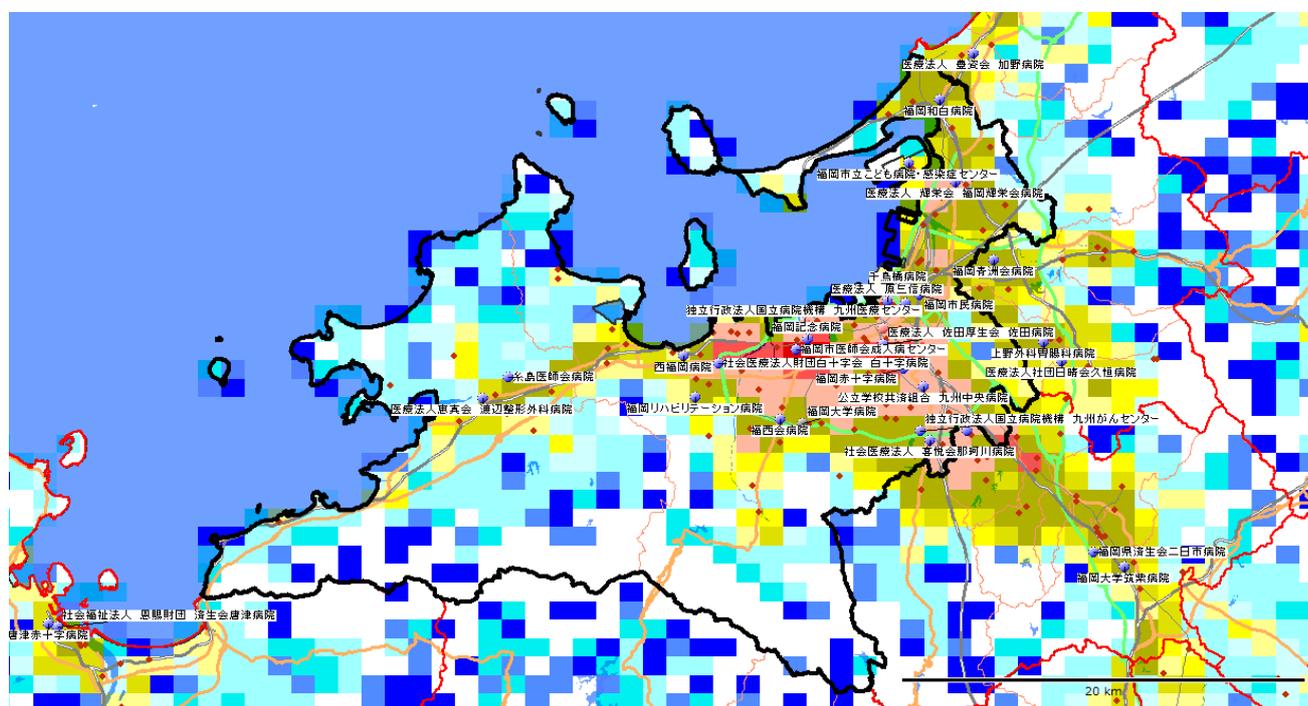
資\_図表 40-21 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
福岡県	17,476	15,216	1,425	68,551	27,819	19,891	35.4%	43	6.7%	49
福岡・糸島	5,983	5,598	174	16,787	7,635	4,872	42.3%	46	3.4%	48
粕屋	930	880	0	3,758	1,270	1,444	40.9%	45	0.0%	46
宗像	0	0	0	2,513	814	731	0.0%	29	0.0%	46
筑紫	760	430	0	4,142	1,604	1,555	21.1%	37	0.0%	46
朝倉	0	0	0	1,414	602	454	0.0%	29	0.0%	46
久留米	465	465	0	8,634	4,214	2,365	9.9%	33	0.0%	46
八女・筑後	563	561	0	1,776	487	825	53.5%	51	0.0%	46
有明	1,186	1,068	68	4,686	1,768	1,226	37.7%	44	5.3%	48
飯塚	493	493	0	3,403	1,886	588	20.7%	37	0.0%	46
直方・鞍手	473	310	100	1,505	364	411	46.0%	47	19.6%	55
田川	683	527	148	2,500	492	175	51.7%	50	45.8%	66
北九州	5,828	4,884	823	14,916	5,960	4,393	45.0%	47	15.8%	53
京築	112	0	112	2,517	723	852	0.0%	29	11.6%	51
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

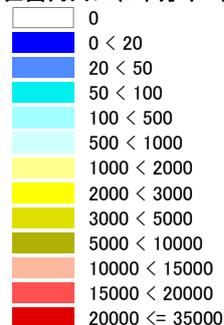
# 40-1. 福岡・糸島医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [東区,博多区,中央区,南区,西区,城南区,早良区,糸島市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 福岡・糸島医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (福岡・糸島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 福岡・糸島(福岡市)は、総人口約 1596 千人(2015 年推計)、面積 557 km<sup>2</sup>、人口密度は 2863 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 福岡・糸島の総人口は 2025 年に 1603 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年に 1522 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 164 千人が、2025 年にかけて 245 千人へと増加し(2015 年比+49%)、2040 年には 293 千人へと増加する(2025 年比+20%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 福岡・糸島の一人当たり医療費(国保)は 312 千円(偏差値 50)、介護給付費は 263 千円(偏差値 53)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 福岡・糸島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.25、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.82 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 61(病院医師数 60、診療所医師数 61)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 65 と多い。福岡・糸島には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の九州医療センター(Ⅱ群)、福岡大学病院(Ⅰ群・救命)、九州大学病院(Ⅰ群・救命)、福岡赤十字病院、福岡総合病院(Ⅱ群・救命)、浜の町病院、1000 例以上の福岡和白病院、九州がんセンター、福岡市立こども病院・感染症センター、佐田病院、原三信病院、九州中央病院、500 例以上の福岡市民病院、福岡記念病院、福西会病院、福岡リハビリテーション病院、白十字病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 61 と多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 50 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 福岡・糸島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17795 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 9067 床(偏差値 47)、高齢者住宅等が 8728 床(偏差値 61)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12398 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム62、軽費ホーム46、グループホーム50、サ高住58である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、2537人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-64%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

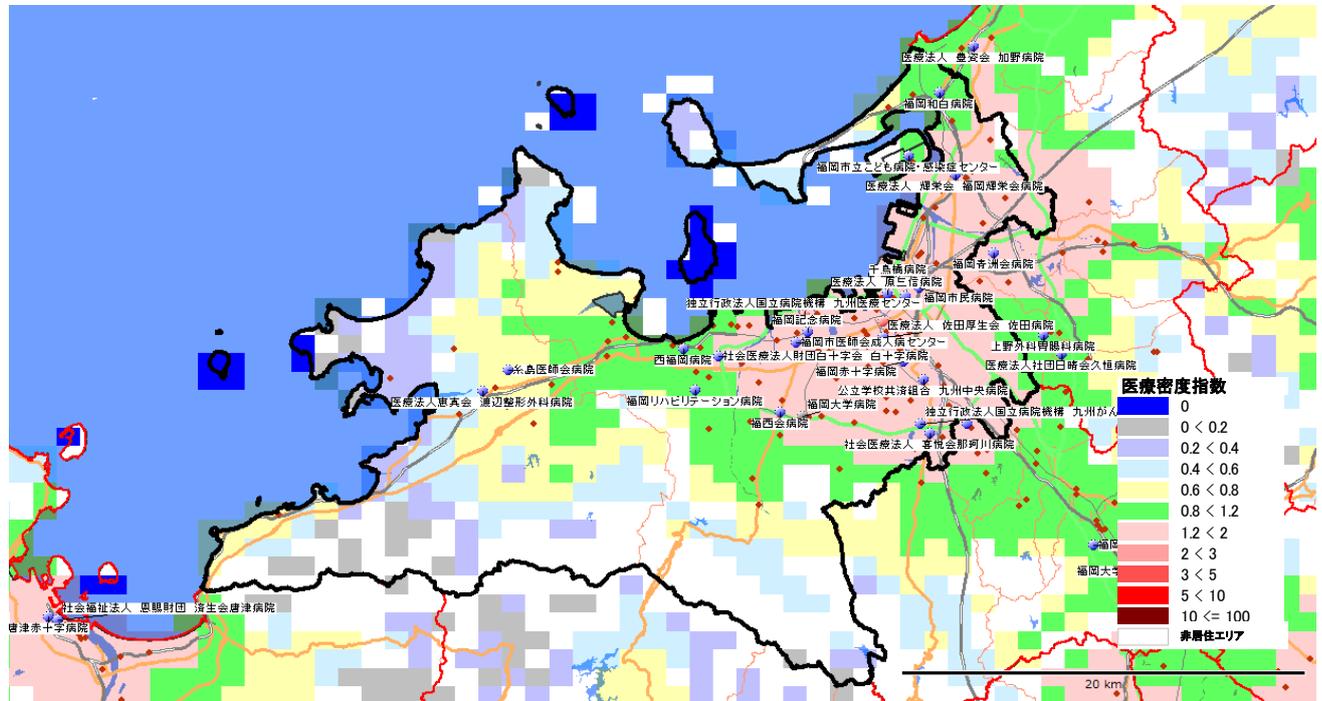
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

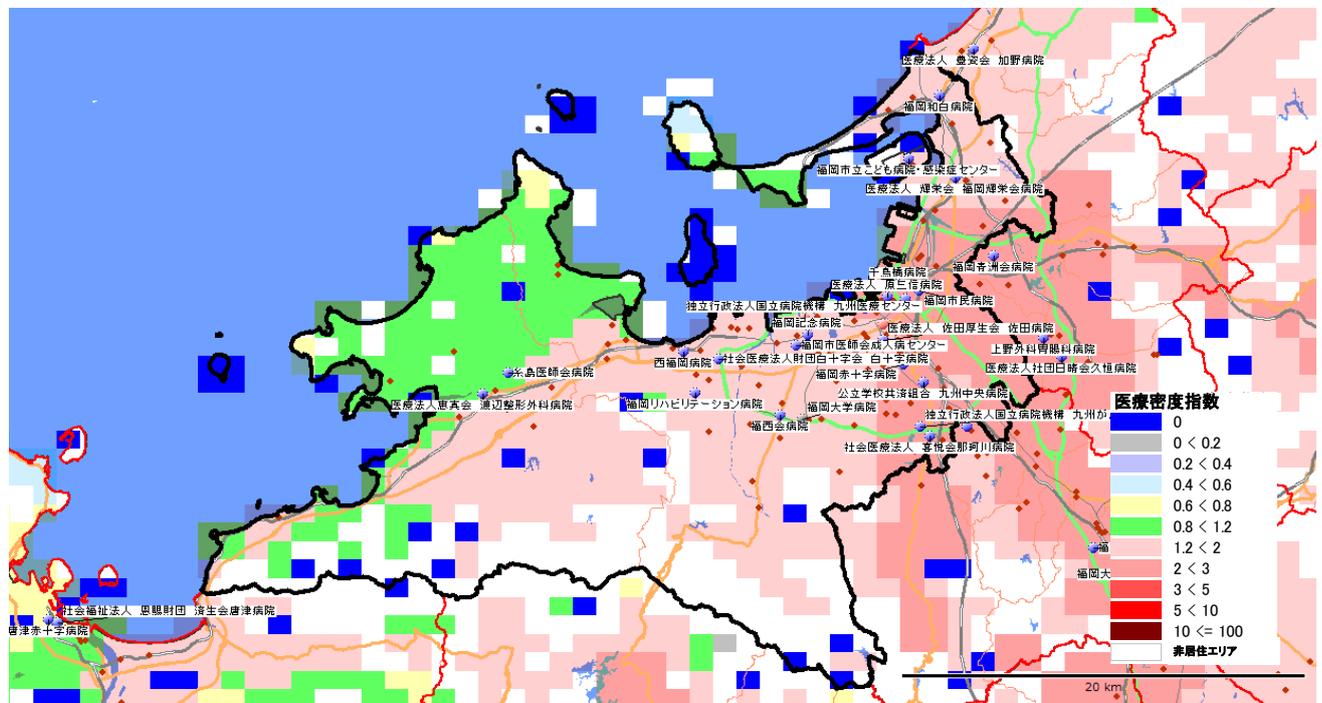
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5)</sup>

図表 40-1-1 急性期医療密度指数マップ



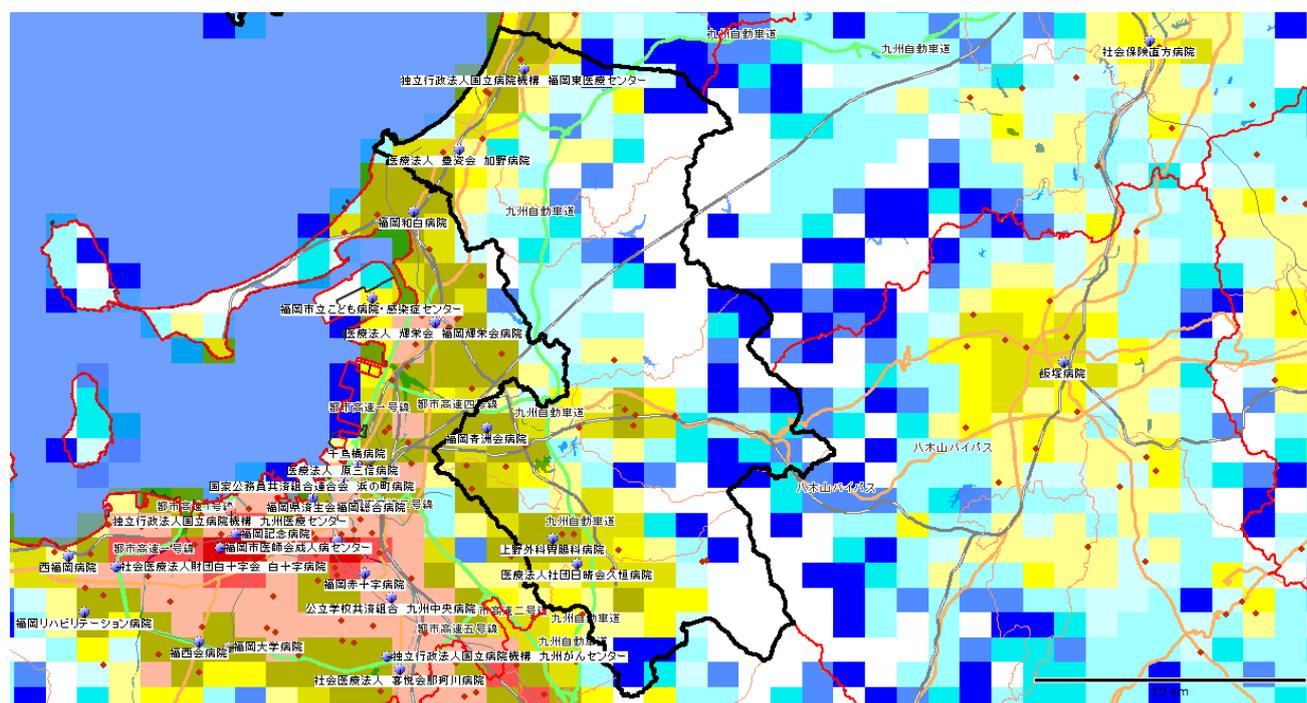
図表 40-1-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5)</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 40-2. かすや 粕屋医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 古賀市, 宇美町, 篠栗町, 志免町, 須恵町, 新宮町, 久山町, 粕屋町  
 人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 粕屋医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (粕屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 粕屋(古賀市)は、総人口約 280 千人(2015 年推計)、面積 207 km<sup>2</sup>、人口密度は 1357 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 粕屋の総人口は 2025 年に 286 千人へと増加し(2015 年比+2%)、2040 年に 282 千人へと減少する(2025 年比-1%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 27 千人が、2025 年にかけて 41 千人へと増加し(2015 年比+52%)、2040 年には 45 千人へと増加する(2025 年比+10%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 粕屋の一人当たり医療費(国保)は 329 千円(偏差値 55)、介護給付費は 227 千円(偏差値 44)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 粕屋の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.81 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 45、診療所医師数 41)と、総医師数と診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 55 とやや多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 52 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。粕屋には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の福岡東医療センター(救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 62 と多く、回復期病床数は偏差値 50 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 39 で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 粕屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2964 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1832 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 1132 床(偏差値 53)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2084 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 50、特別養護老人ホーム 42、介護療養型医療施設 92、有料老人ホーム 54、軽費ホーム 51、グループホーム 52、サ高住 50 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 54 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 71

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、289人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+13%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は-46%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

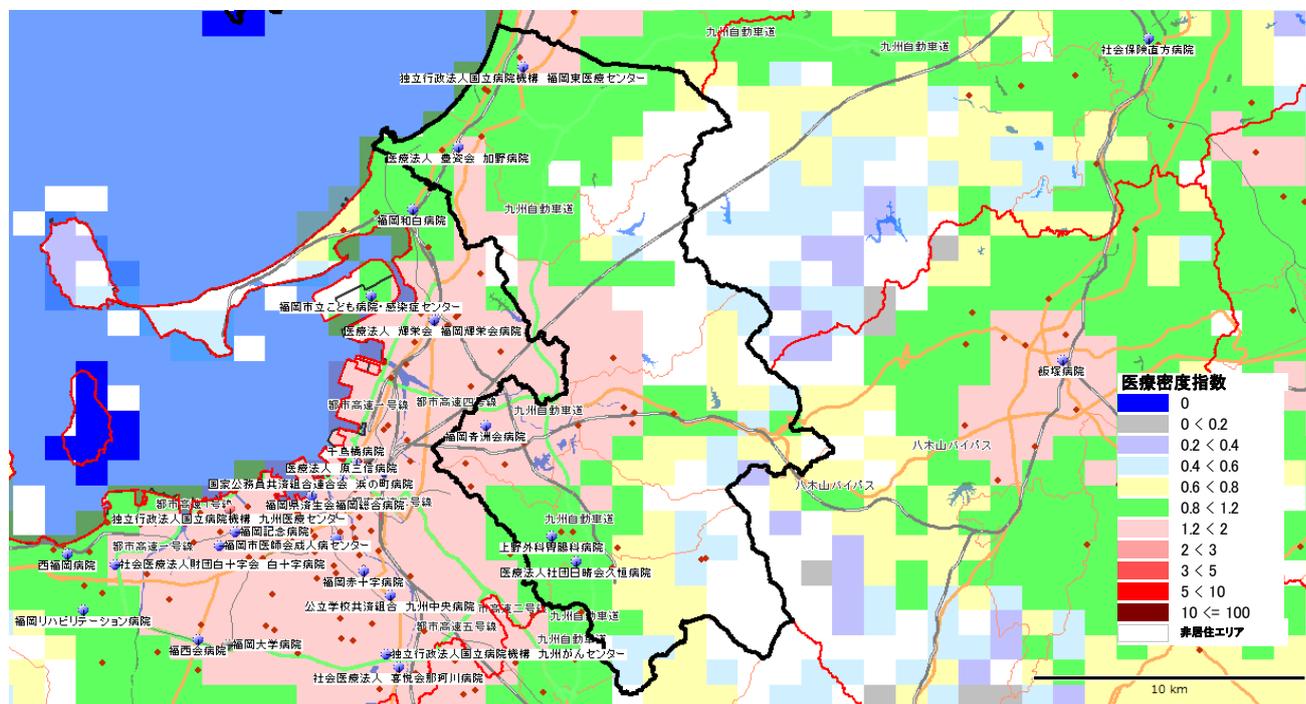
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

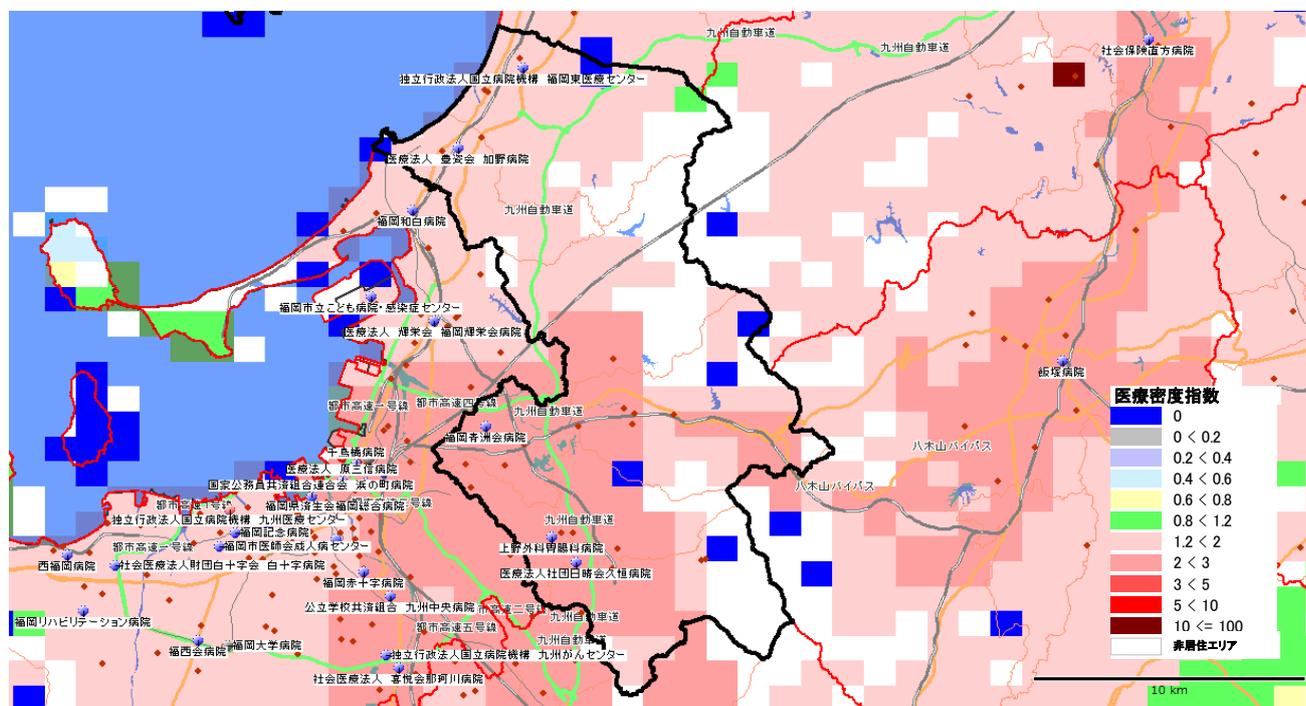
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-2-2 慢性期医療密度指数マップ

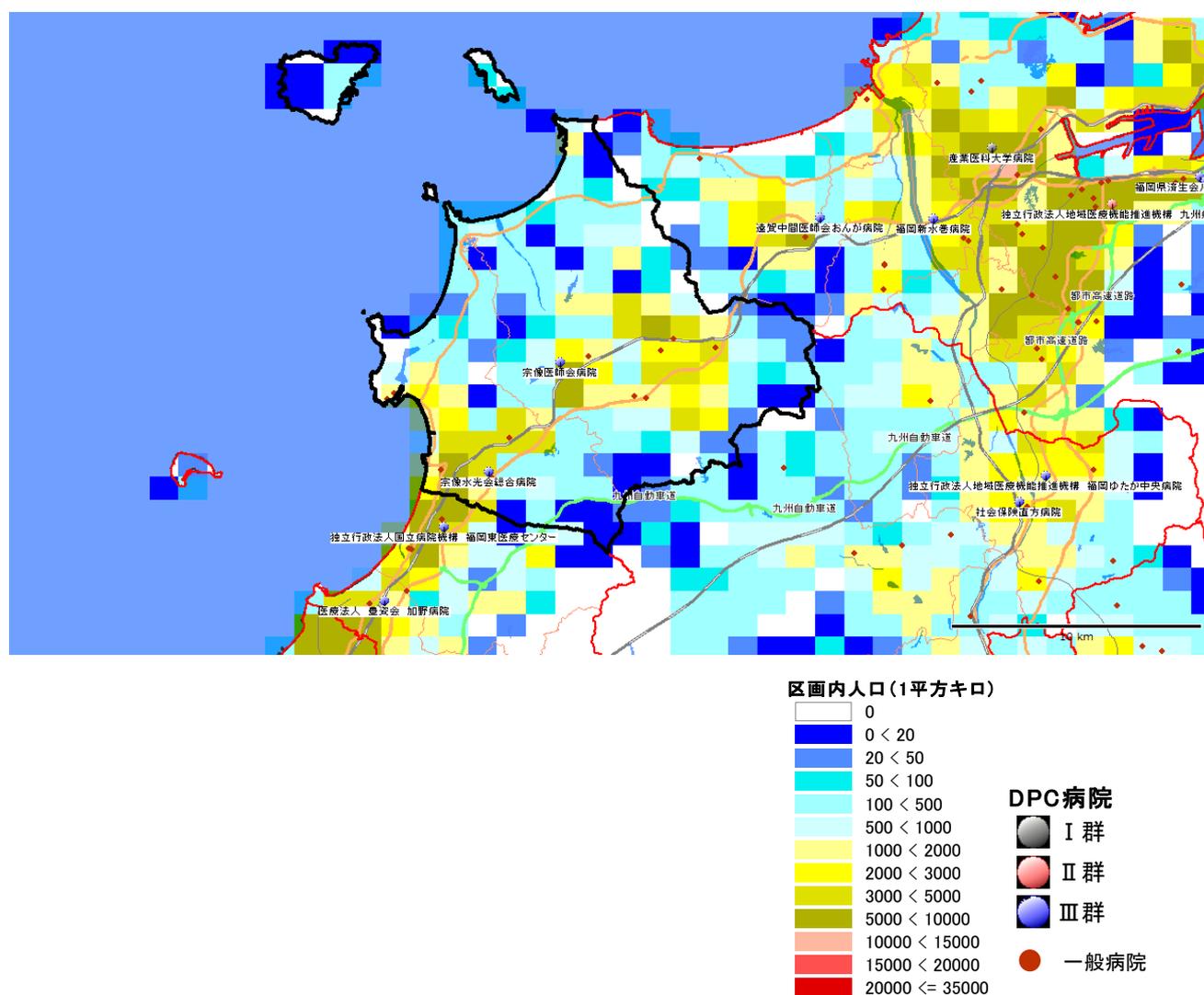


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 40-3. むなかた 宗像医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [宗像市](#), [福津市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 宗像医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (宗像医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 宗像(宗像市)は、総人口約 150 千人(2015 年推計)、面積 172 km<sup>2</sup>、人口密度は 870 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 宗像の総人口は 2025 年に 144 千人へと減少し(2015 年比-4%)、2040 年に 128 千人へと減少する(2025 年比-11%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 20 千人が、2025 年にかけて 28 千人へと増加し(2015 年比+40%)、2040 年には 30 千人へと増加する(2025 年比+7%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 宗像の一人当たり医療費(国保)は 340 千円(偏差値 57)、介護給付費は 237 千円(偏差値 46)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 宗像の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.96、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.69 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 43(病院医師数 43、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 43 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 37 と少ない。宗像には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 55 とやや多く、回復期病床数は偏差値 44 と少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 67 で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 48 で診療所数は全国平均レベルである。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 宗像の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1782 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1095 床(偏差値 47)、高齢者住宅等が 687 床(偏差値 48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1405 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 42、特別養護老人ホーム 39、介護療養型医療施設 77、有料老人ホーム 54、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 47、サ高住 45 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 53 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 56

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。

と多い。介護職員（在宅）の合計は、175人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-53%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

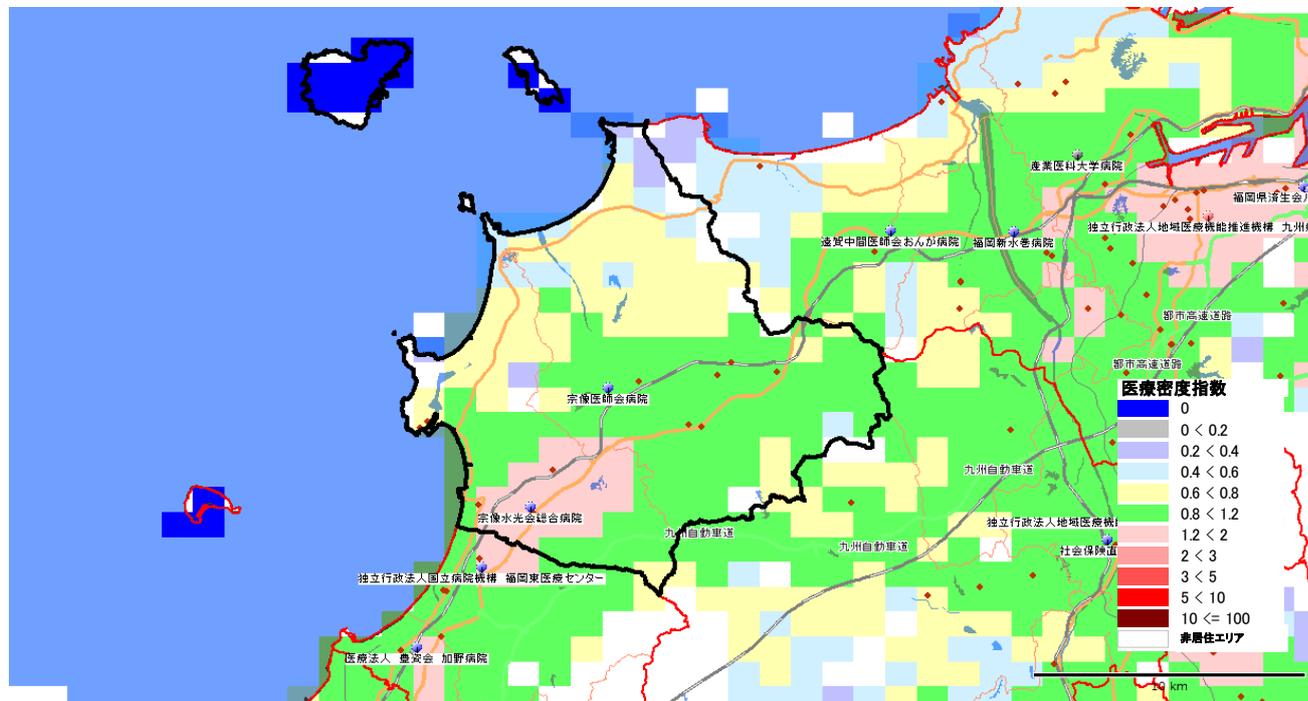
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

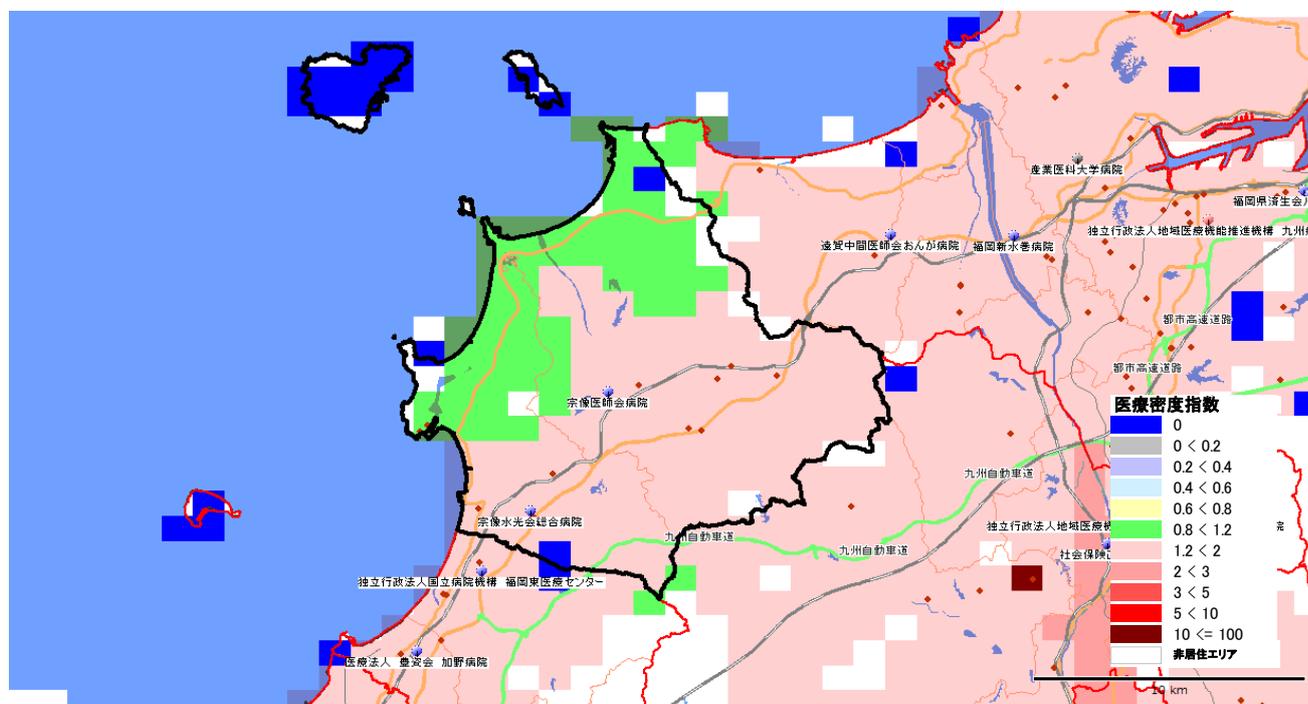
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-3-2 慢性期医療密度指数マップ

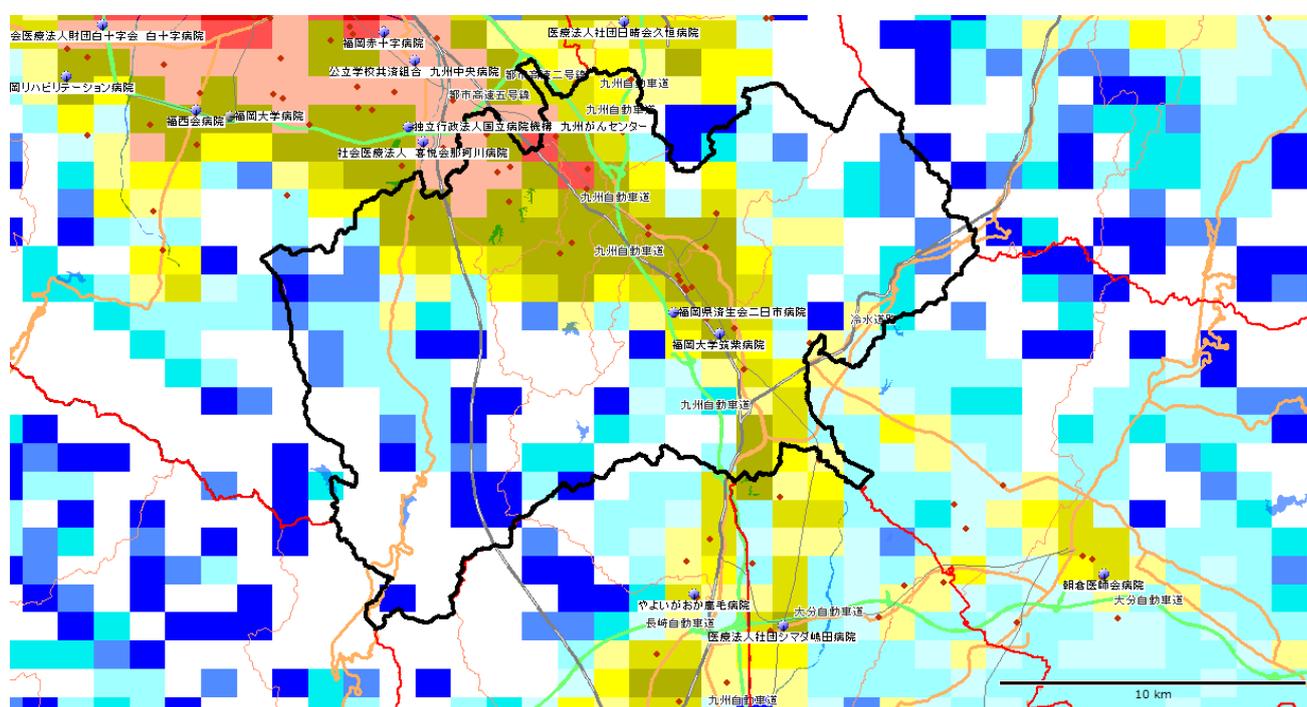


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

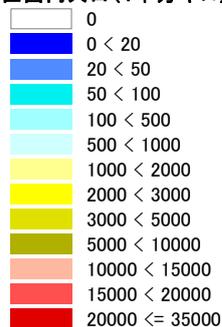
# ちくし 40-4. 筑紫医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 筑紫野市, 春日市, 大野城市, 太宰府市, 那珂川町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 筑紫医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (筑紫医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 筑紫(筑紫野市)は、総人口約 428 千人(2015 年推計)、面積 233 km<sup>2</sup>、人口密度は 1833 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 筑紫の総人口は 2025 年に 426 千人とほぼ変わらず(2015 年比±0%)、2040 年に 403 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 42 千人が、2025 年にかけて 64 千人へと増加し(2015 年比+52%)、2040 年には 75 千人へと増加する(2025 年比+17%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 筑紫の一人当たり医療費(国保)は 312 千円(偏差値 51)、介護給付費は 231 千円(偏差値 45)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 筑紫の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.02、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.99 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 45(病院医師数 45、診療所医師数 46)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 46 とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 40 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 45 とやや少ない。筑紫には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の福岡徳洲会病院、1000 例以上の福岡大学筑紫病院、500 例以上の福岡県済生会二日市病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 55 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 51 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 52 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 43 で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 筑紫の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4291 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2262 床(偏差値 46)、高齢者住宅等が 2029 床(偏差値 58)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2863 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 35、特別養護老人ホーム 43、介護療養

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

型医療施設 76、有料老人ホーム 58、軽費ホーム 50、グループホーム 49、サ高住 57 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 68 と非常に多い。介護職員（在宅）の合計は、510 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 48)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+4%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-71%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

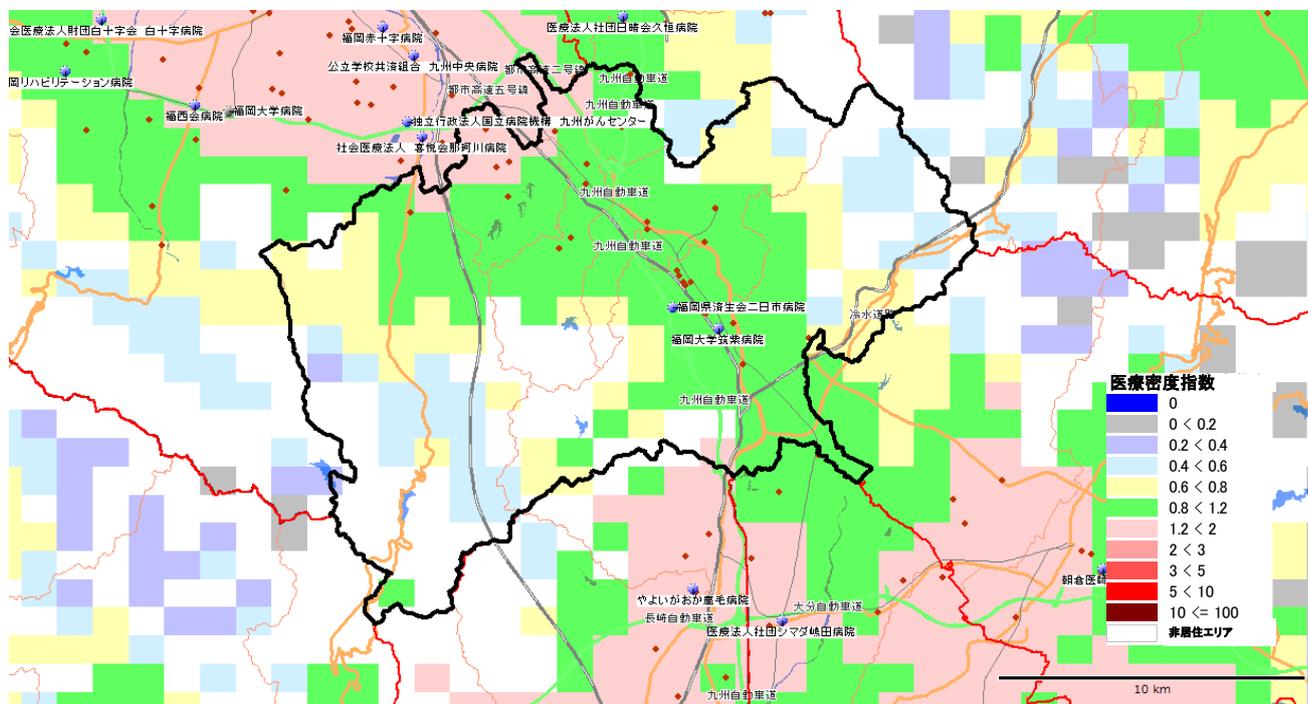
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

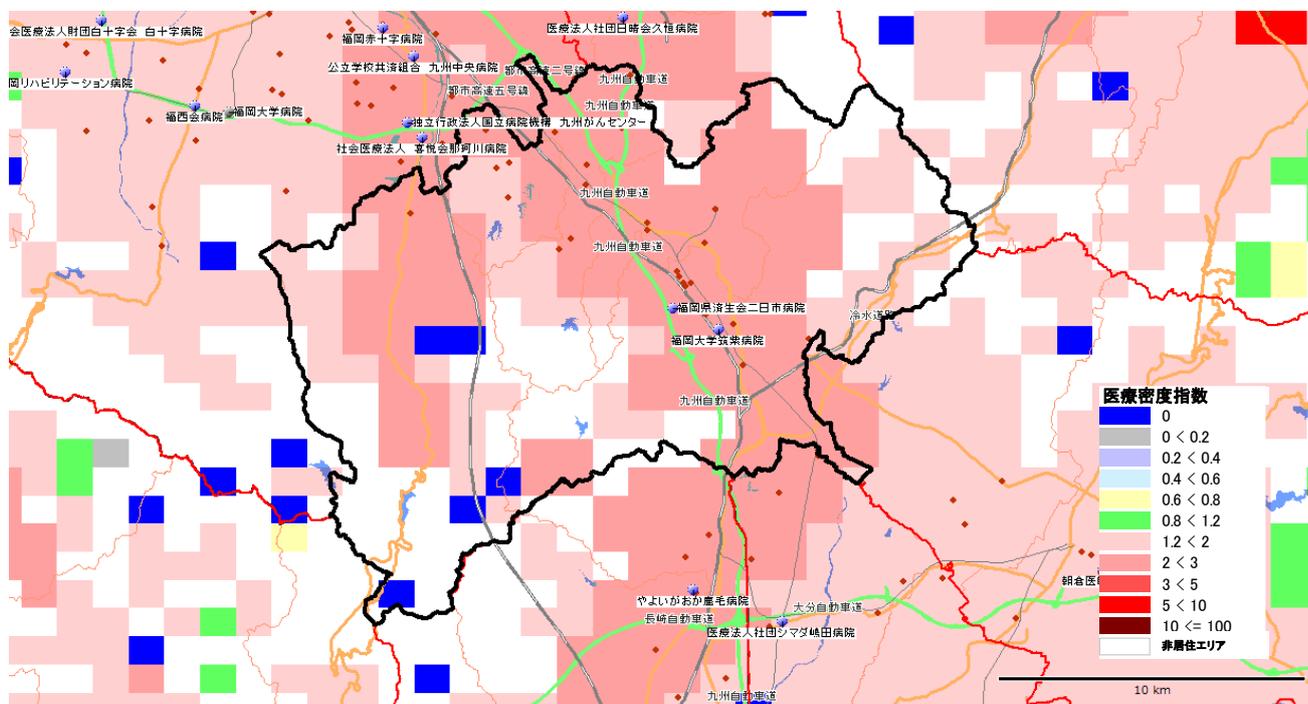
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-4-2 慢性期医療密度指数マップ

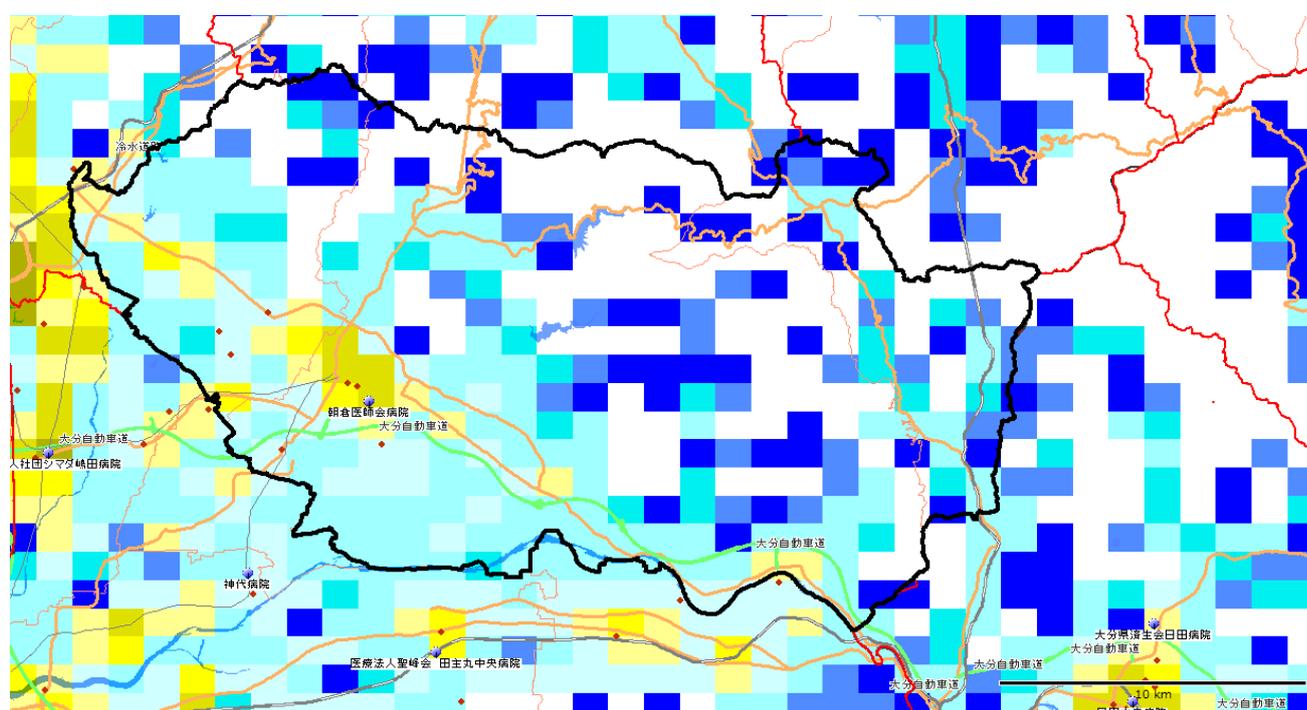


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

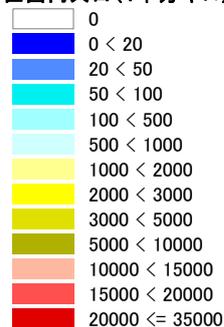
# あさくら 40-5. 朝倉医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 朝倉市,筑前町,東峰村

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 朝倉医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (朝倉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 朝倉(朝倉市)は、総人口約 84 千人(2015 年推計)、面積 366 km<sup>2</sup>、人口密度は 231 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 朝倉の総人口は 2025 年に 77 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 64 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 14 千人が、2025 年にかけて 16 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 16 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 朝倉の一人当たり医療費(国保)は 342 千円(偏差値 58)、介護給付費は 273 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 朝倉の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.94、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.11 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 45、診療所医師数 55)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 58 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 50 で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は 41 と少ない。朝倉には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 63 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 60 と多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 朝倉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1428 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1070 床(偏差値 66)、高齢者住宅等が 358 床(偏差値 43)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1131 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 72、特別養護老人ホーム 61、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 40、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 46、サ高住 54 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 86 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 52

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、75人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+7%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-13%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

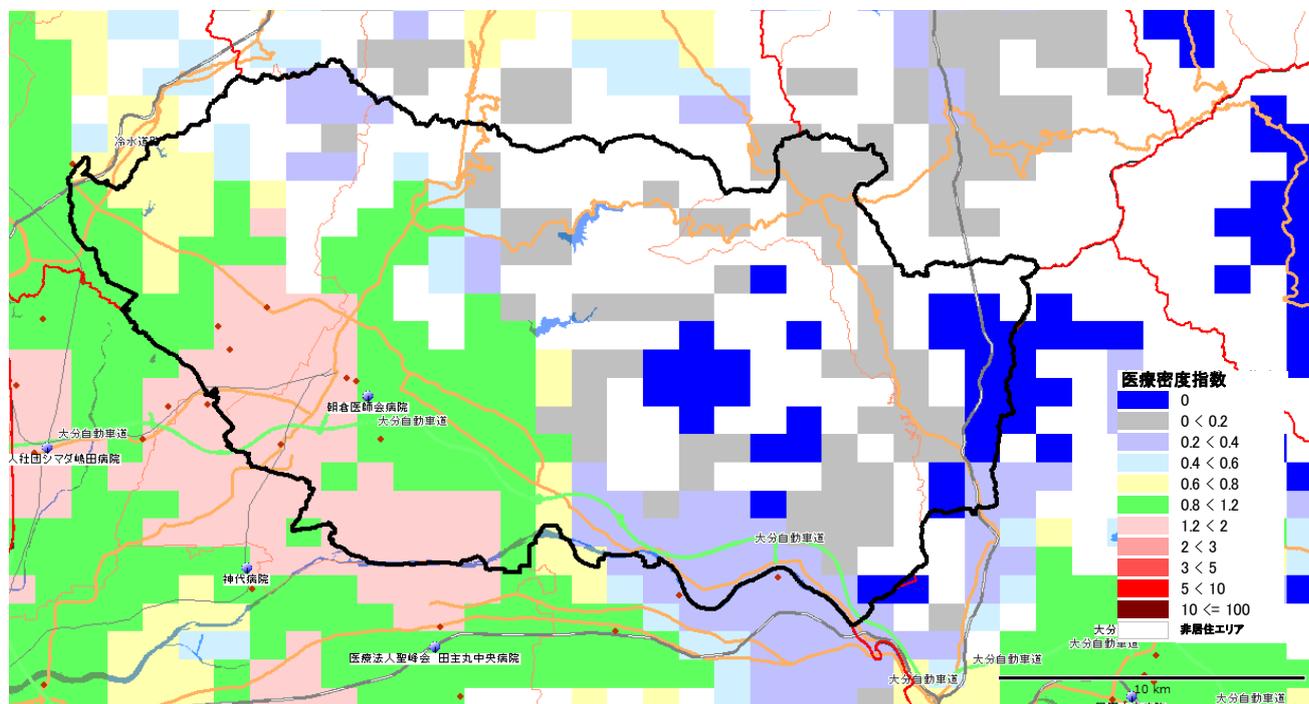
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

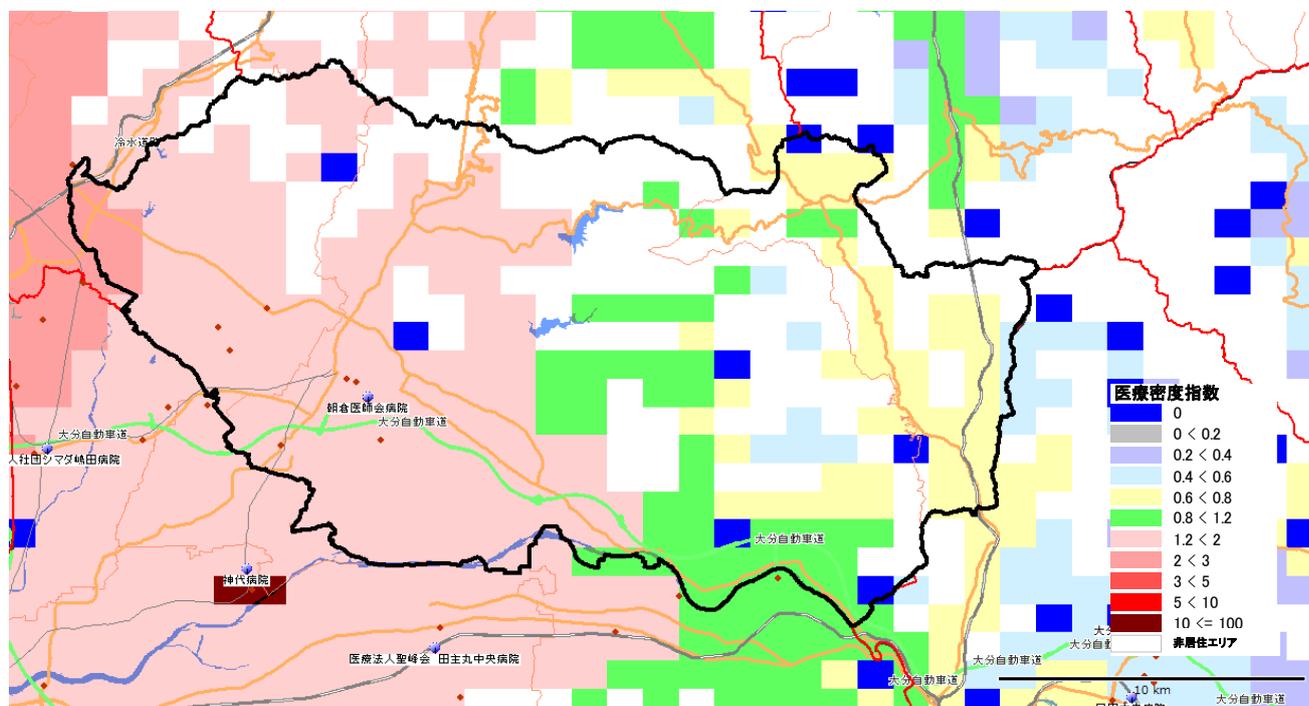
40. 福岡県

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-5-2 慢性期医療密度指数マップ

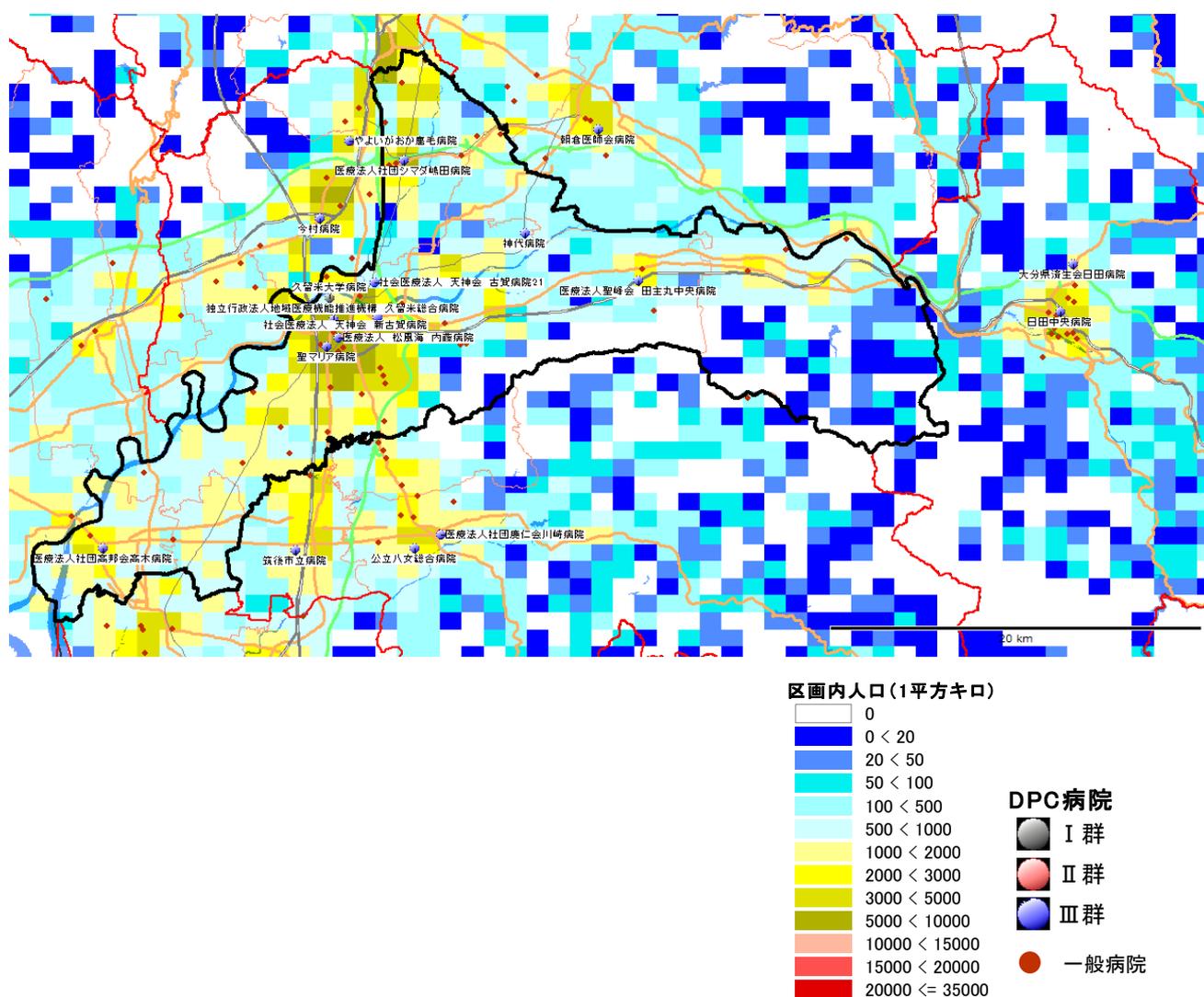


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## 40-6. く る め 久留米医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [久留米市](#), [大川市](#), [小郡市](#), [うきは市](#), [大刀洗町](#), [大木町](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 久留米医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (久留米医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 久留米(久留米市)は、総人口約 451 千人(2015 年推計)、面積 468 km<sup>2</sup>、人口密度は 963 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 久留米の総人口は 2025 年に 425 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 371 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 61 千人が、2025 年にかけて 78 千人へと増加し(2015 年比+28%)、2040 年には 82 千人へと増加する(2025 年比+5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 久留米の一人当たり医療費(国保)は 352 千円(偏差値 60)、介護給付費は 264 千円(偏差値 54)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 久留米の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.18、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.69 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 68(病院医師数 72、診療所医師数 55)と、総医師数、特に病院医師数は非常に多いが、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 68 と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 66 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 68 と非常に多い。久留米には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の久留米大学病院(I 群・救命)、聖マリア病院(救命)、1000 例以上の新古賀病院(II 群)、久留米総合病院、500 例以上の高邦会高木病院、古賀病院 21 がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 75 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 66 と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 59 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 60 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 久留米の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5440 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 3232 床(偏差値 46)、高齢者住宅等が 2208 床(偏差値 50)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4900 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム45、軽費ホーム49、グループホーム67、サ高住43である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値70と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、664人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-37%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

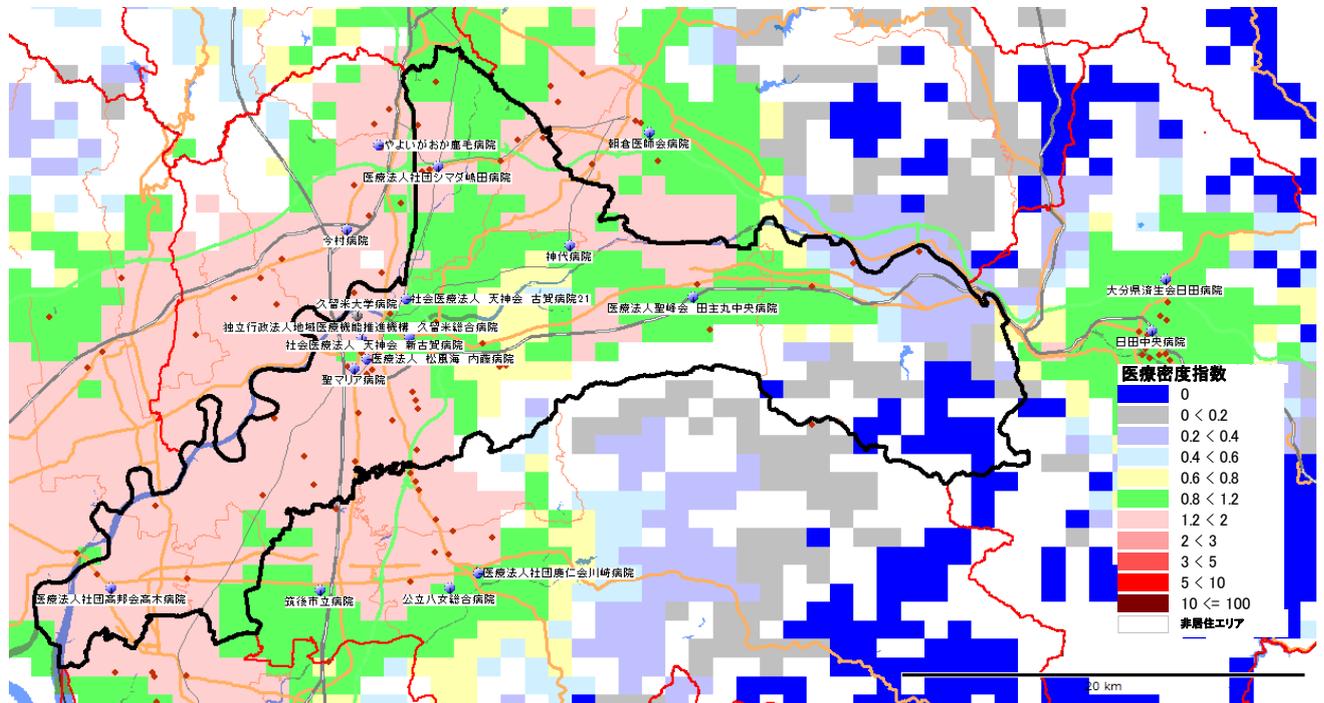
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

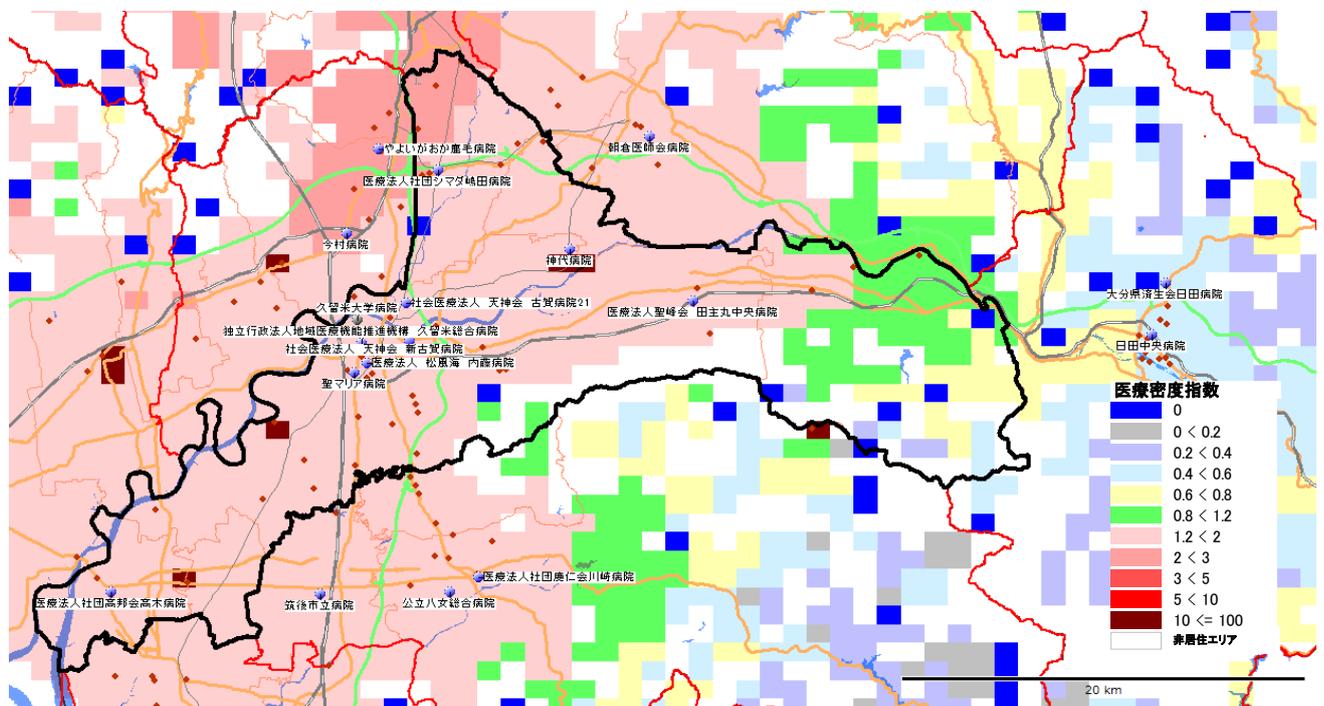
40. 福岡県

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-6-2 慢性期医療密度指数マップ

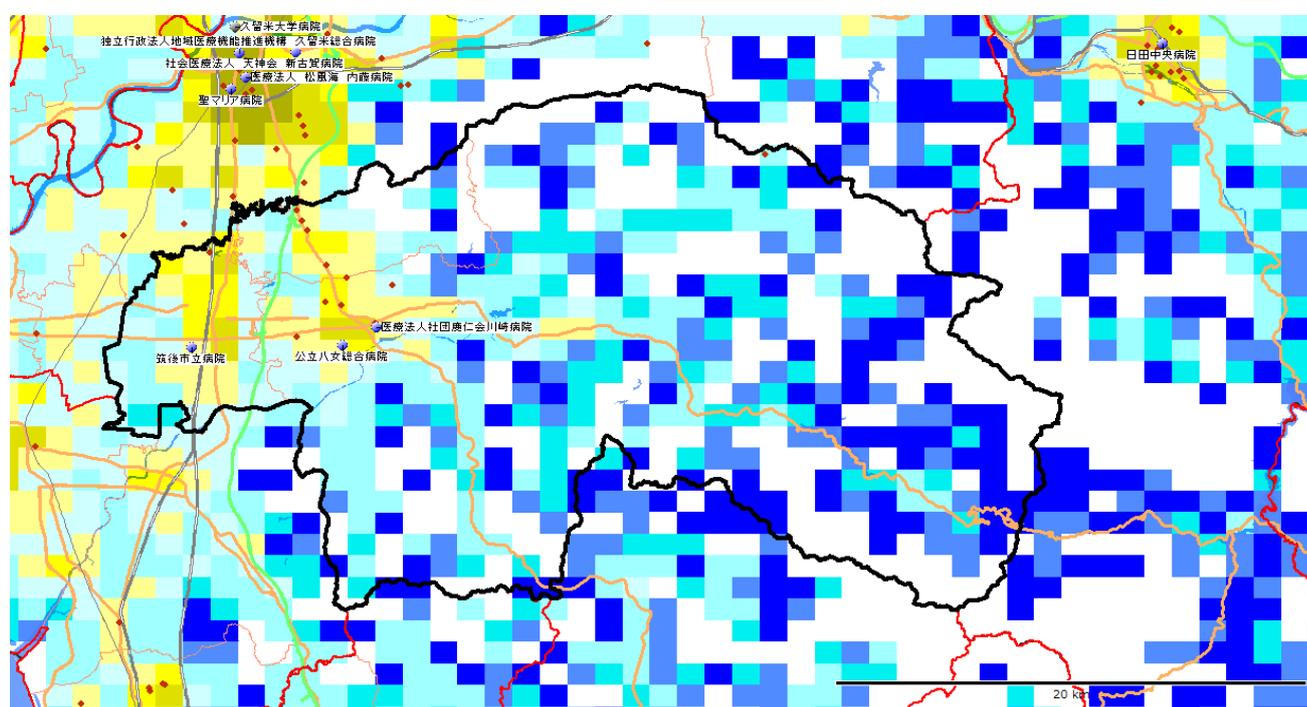


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

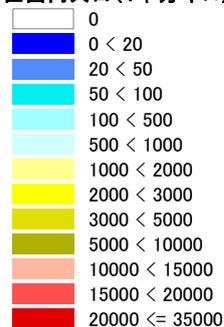
# 40-7. やめちくご 八女・筑後医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 八女市,筑後市,広川町

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 八女・筑後医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (八女・筑後医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 八女・筑後(八女市)は、総人口約 134 千人(2015 年推計)、面積 562 km<sup>2</sup>、人口密度は 238 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 八女・筑後の総人口は 2025 年に 124 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 107 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 21 千人が、2025 年にかけて 25 千人へと増加し(2015 年比+19%)、2040 年には 25 千人とほぼ変わらない(2025 年比±0%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 八女・筑後の一人当たり医療費(国保)は 342 千円(偏差値 58)、介護給付費は 258 千円(偏差値 52)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 八女・筑後の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は 2.19 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 48、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 64 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 53 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。八女・筑後には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の慶仁会川崎病院、公立八女総合病院、筑後市立病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 67 と療養病床数は非常に多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 71 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 59 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 八女・筑後の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2168 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1475 床(偏差値 58)、高齢者住宅等が 693 床(偏差値 47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1805 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 61、特別養護老人ホーム 58、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 43、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 63、サ高住 44 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 71 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 47 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、184 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 41)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+9%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-6%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

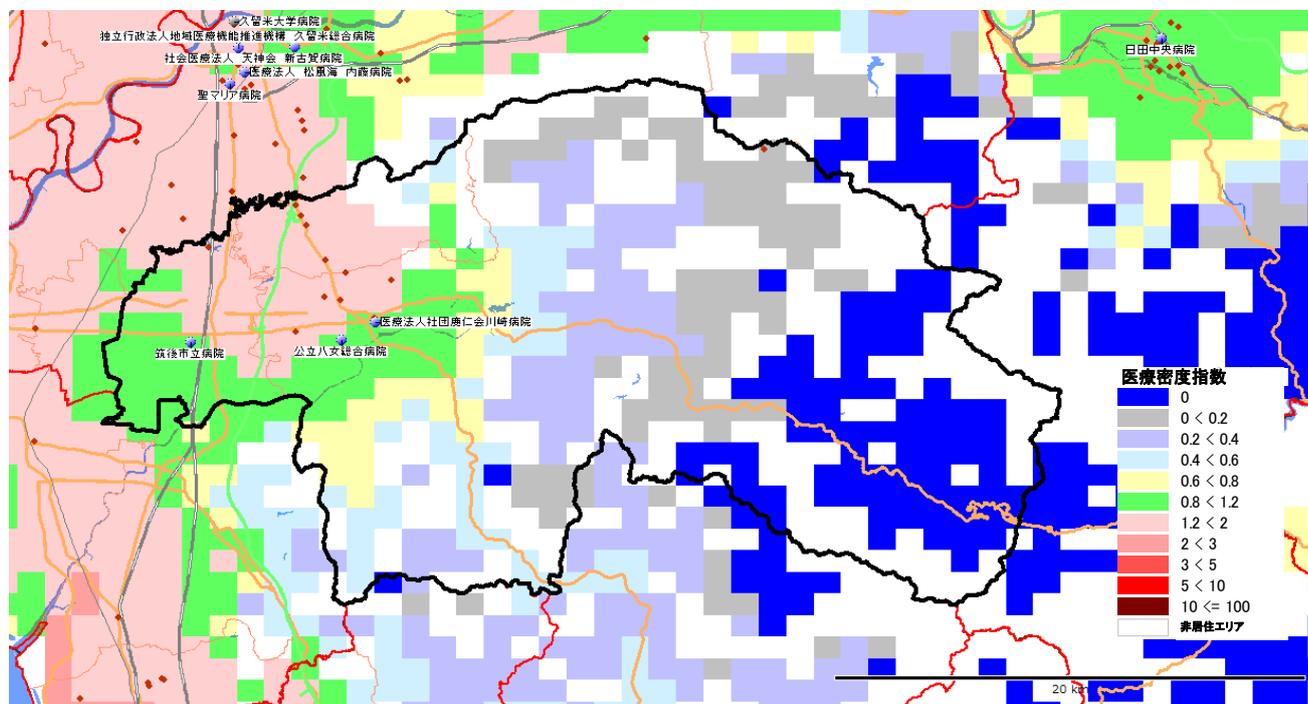
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

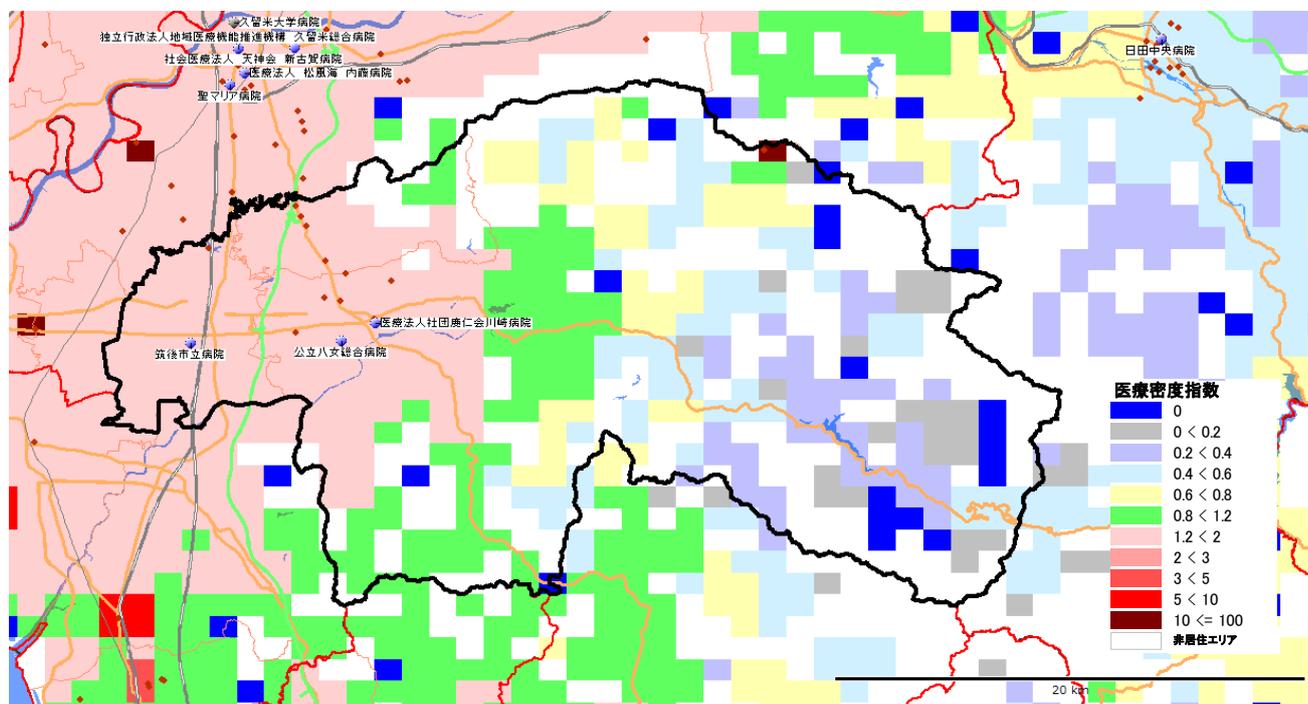
40. 福岡県

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-7-2 慢性期医療密度指数マップ

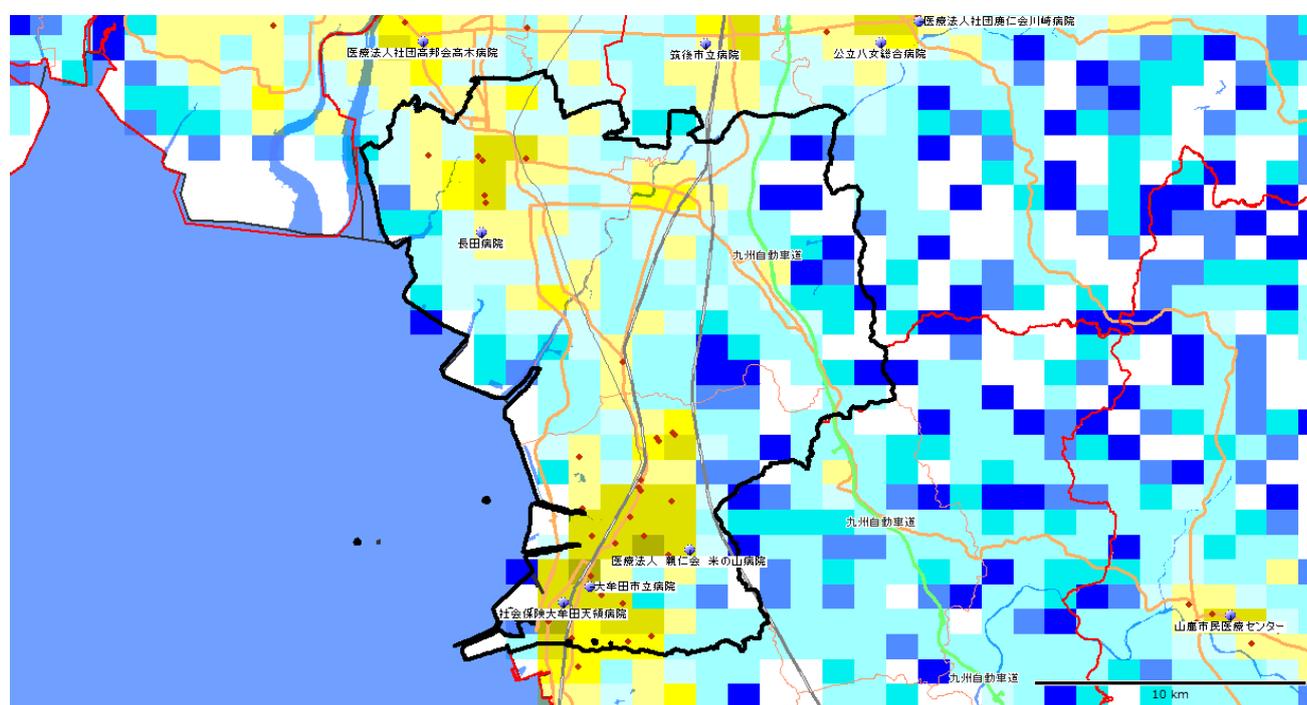


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# ありあけ 40-8. 有明医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [大牟田市](#), [柳川市](#), [みやま市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 有明医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (有明医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 有明(大牟田市)は、総人口約 222 千人(2015 年推計)、面積 264 km<sup>2</sup>、人口密度は 843 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 有明の総人口は 2025 年に 195 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 155 千人へと減少する(2025 年比-21%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 40 千人が、2025 年にかけて 45 千人へと増加し(2015 年比+13%)、2040 年には 41 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 有明の一人当たり医療費(国保)は 379 千円(偏差値 67)、介護給付費は 289 千円(偏差値 60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 有明の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.52、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.2 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 55(病院医師数 53、診療所医師数 58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は 73 と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 76 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 42 と少ない。有明には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の大牟田市立病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 65 と療養病床数は多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 80 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 66 と非常に多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 73 で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 60 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 有明の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4025 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2861 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 1164 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3485 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 59)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 63、特別養護老人ホーム 52、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 44、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 52、サ高住 47 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 48 と全

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

国平均レベルである。。介護職員（在宅）の合計は、963人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

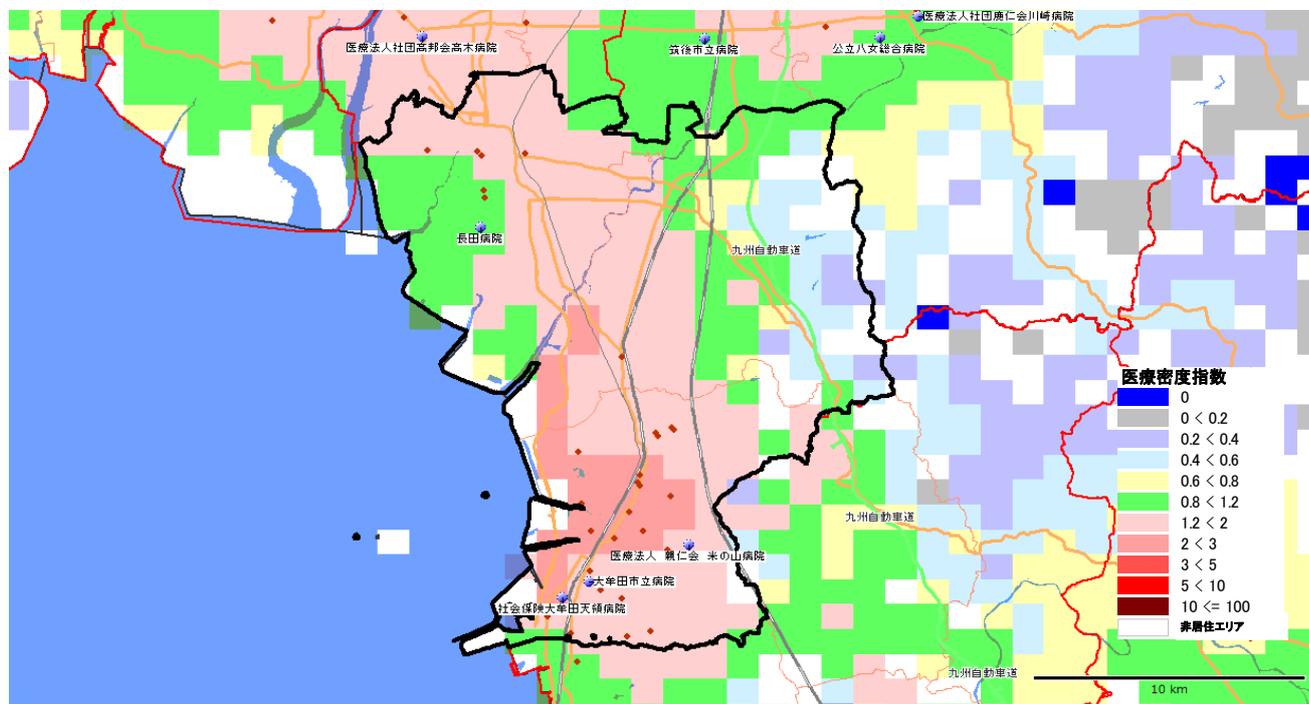
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

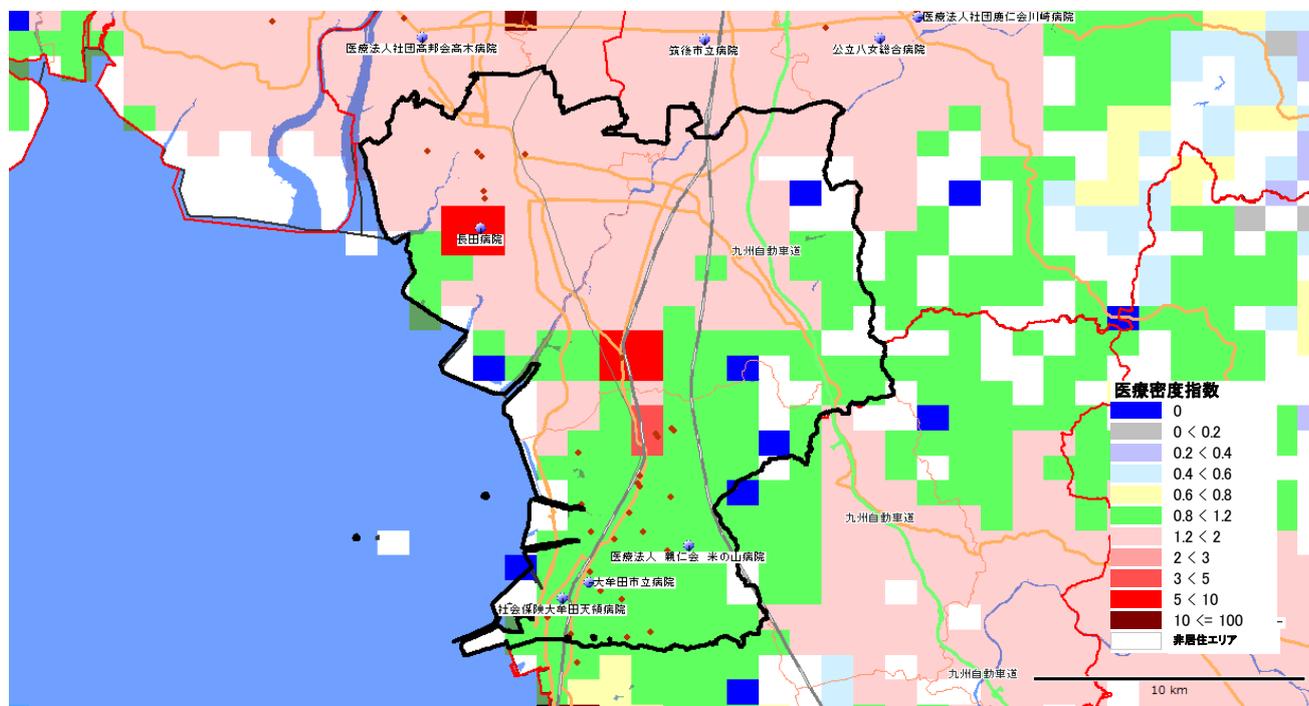
40. 福岡県

2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-8-2 慢性期医療密度指数マップ

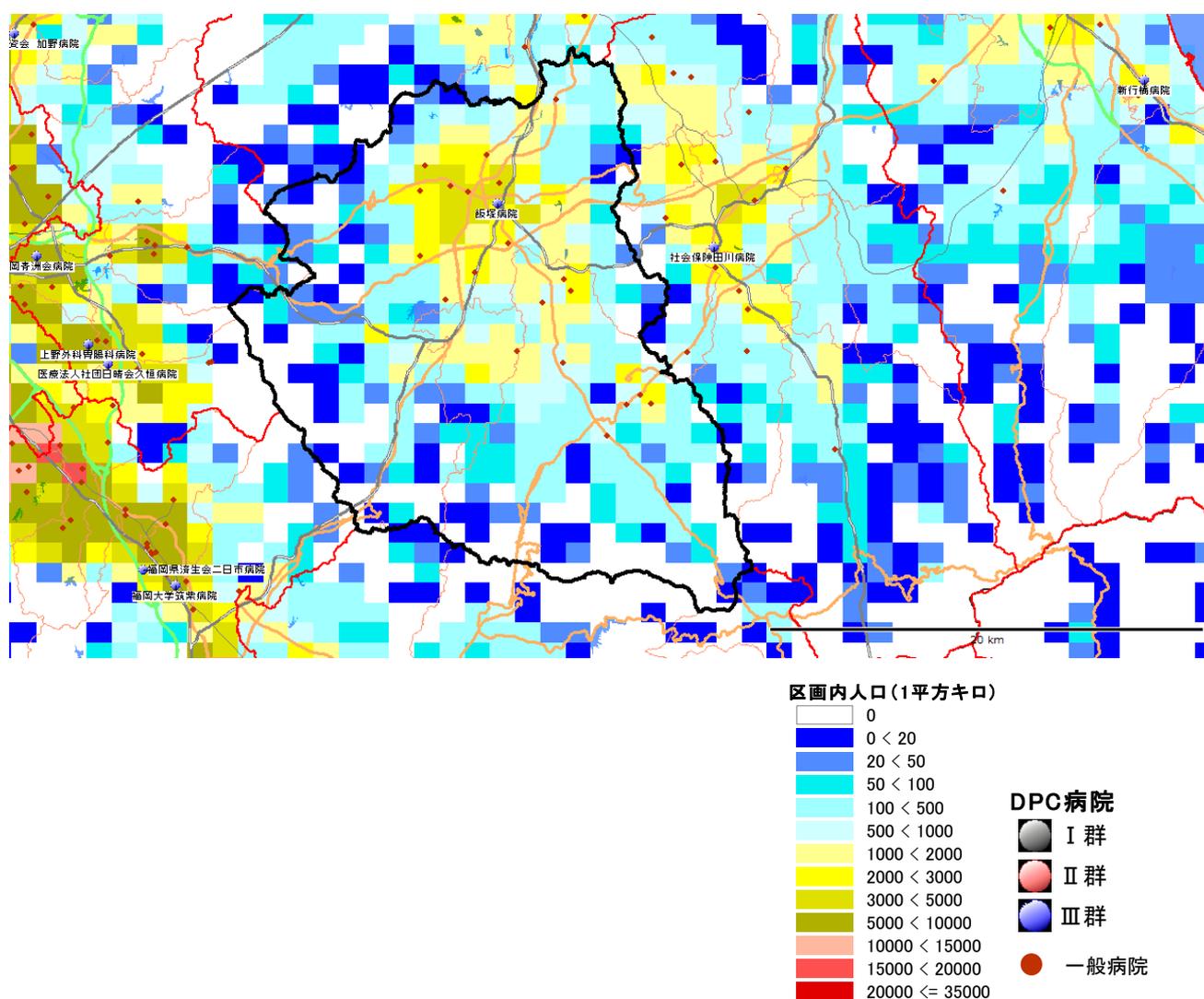


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 40-9. いづか 飯塚医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 飯塚市, 嘉麻市, 桂川町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 飯塚医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (飯塚医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 飯塚(飯塚市)は、総人口約 181 千人(2015 年推計)、面積 369 km<sup>2</sup>、人口密度は 490 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 飯塚の総人口は 2025 年に 166 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 141 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 28 千人が、2025 年にかけて 34 千人へと増加し(2015 年比+21%)、2040 年には 32 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 飯塚の一人当たり医療費(国保)は 349 千円(偏差値 59)、介護給付費は 316 千円(偏差値 68)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 飯塚の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.06、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.62 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 62(病院医師数 66、診療所医師数 52)と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 76 と非常に多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 76 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 69 と非常に多い。飯塚には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の飯塚病院(救命)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 72 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 51 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 58 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 飯塚の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3424 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 67)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2179 床(偏差値 65)、高齢者住宅等が 1245 床(偏差値 55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2346 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 63、特別養護老人ホーム 62、介護療養型医療施設 50、有料老人ホーム 47、軽費ホーム 59、グループホーム 58、サ高住 57 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 47 とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値 64 と多い。介護職員（在宅）の合計は、555 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 62)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+22%であり、介護の充足度は高い。2040 年の介護充足度指数は+11%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

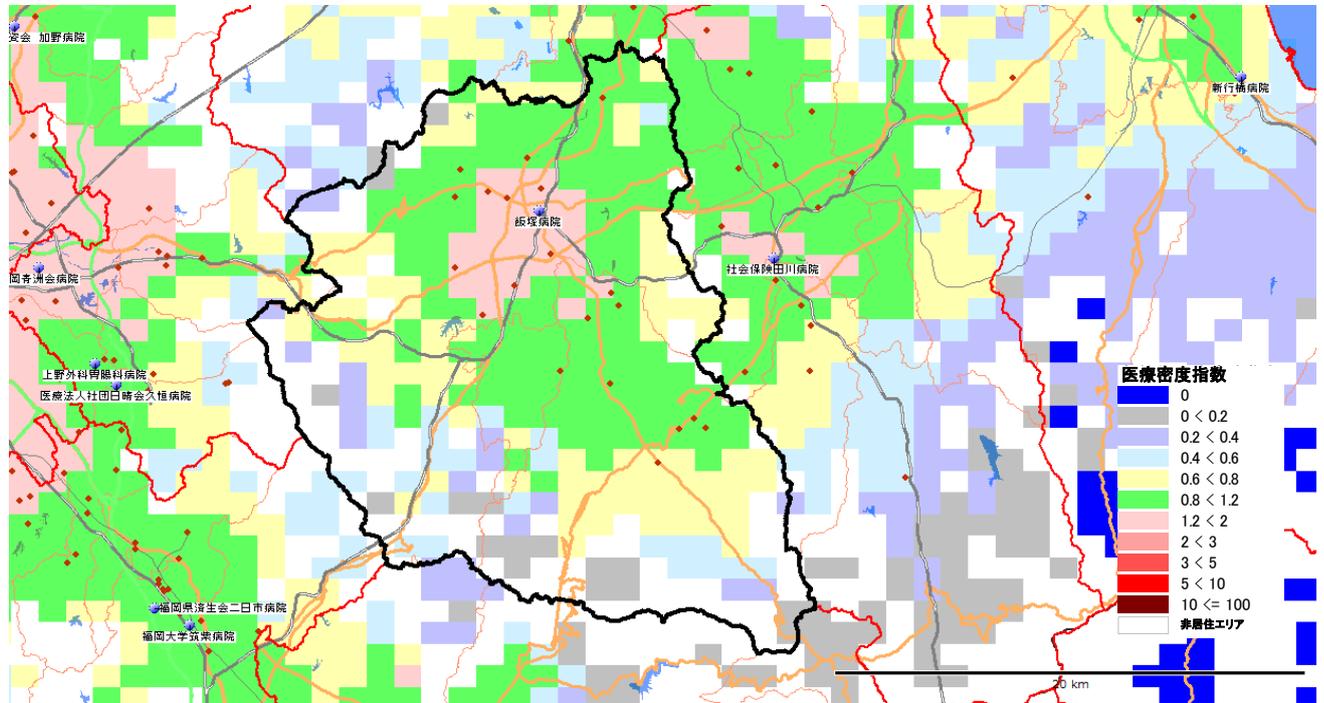
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

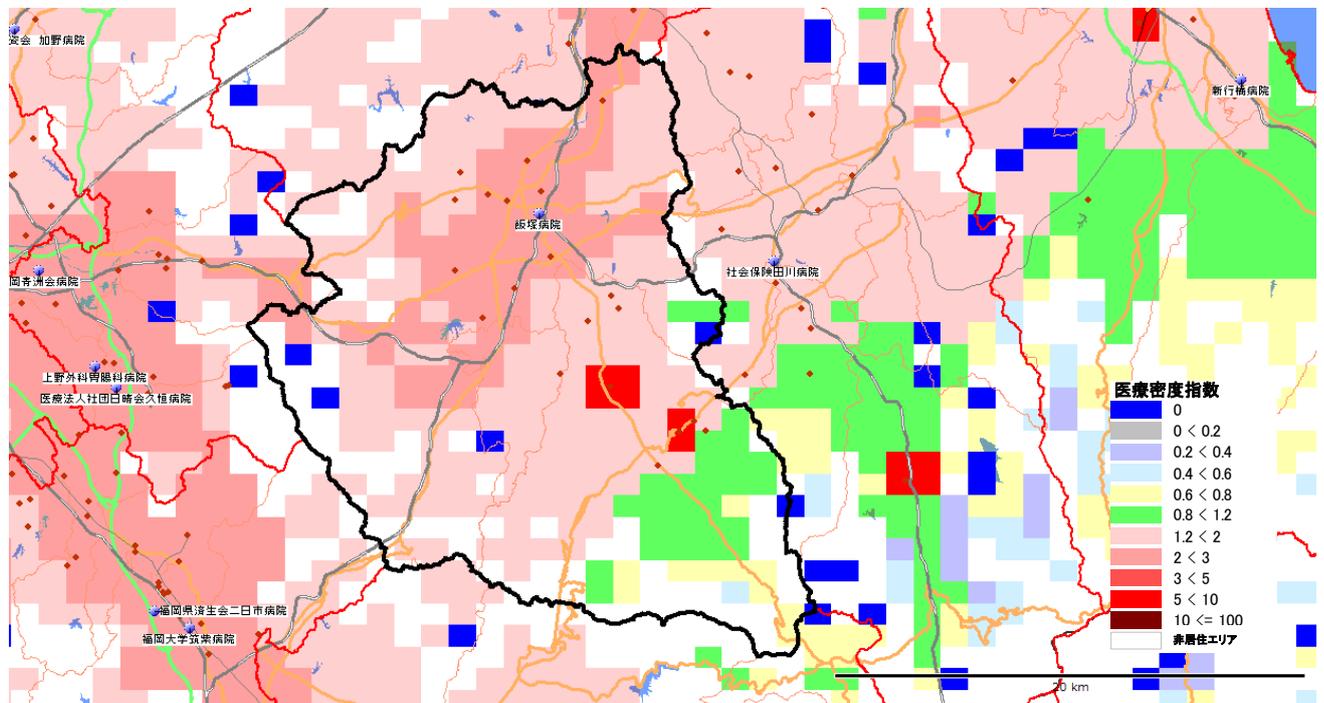
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-9-2 慢性期医療密度指数マップ

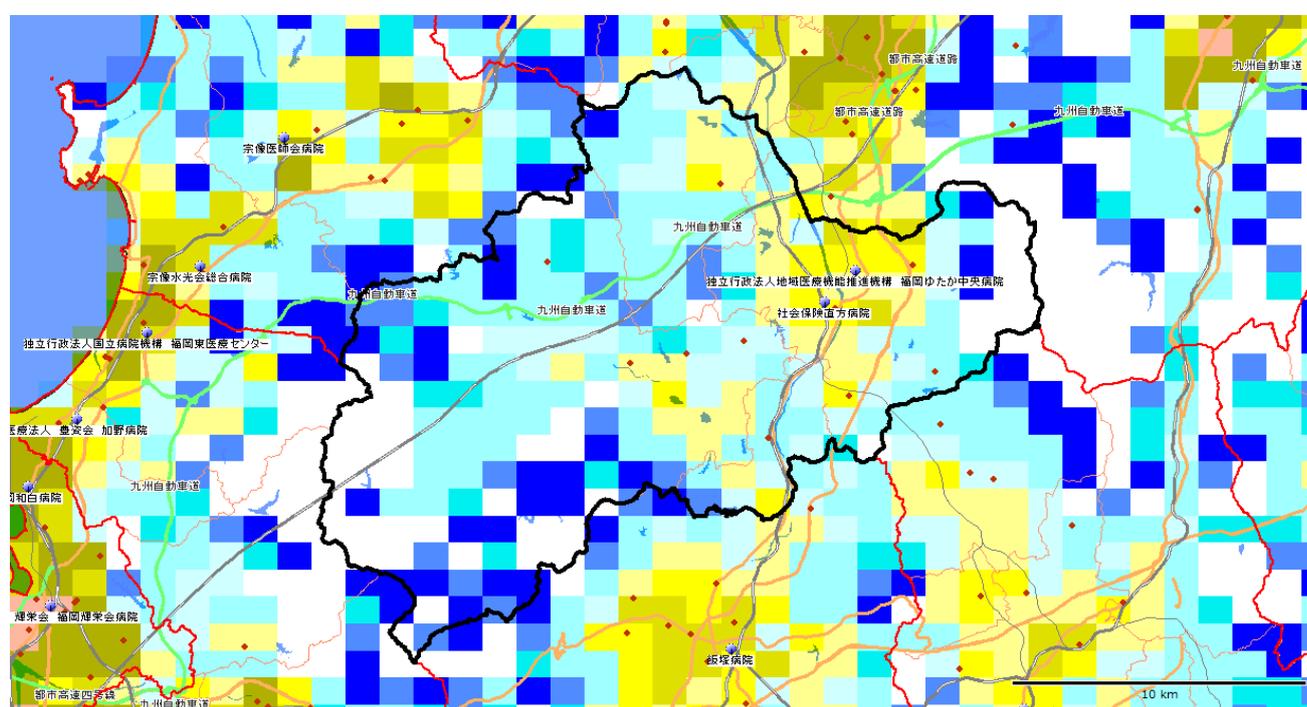


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

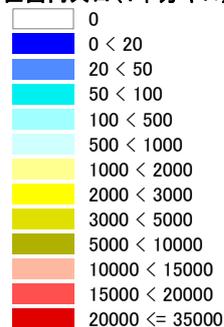
# 40-10. のおがた くら て 直方・鞍手医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 直方市,宮若市,小竹町,鞍手町

人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 直方・鞍手医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (直方・鞍手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 直方・鞍手(直方市)は、総人口約 109 千人(2015 年推計)、面積 252 km<sup>2</sup>、人口密度は 432 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 直方・鞍手の総人口は 2025 年に 98 千人へと減少し(2015 年比-10%)、2040 年に 81 千人へと減少する(2025 年比-17%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 18 千人が、2025 年にかけて 22 千人へと増加し(2015 年比+22%)、2040 年には 20 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 直方・鞍手の一人当たり医療費(国保)は 368 千円(偏差値 64)、介護給付費は 273 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 直方・鞍手の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.58 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 45、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 61 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 46 で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は 35 と少ない。直方・鞍手には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 52 と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値 55 とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 68 で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 56 で診療所数は多い。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 直方・鞍手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2683 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 81)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1280 床(偏差値 59)、高齢者住宅等が 1403 床(偏差値 78)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1662 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 61)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 71、特別養護老人ホーム 46、介護療養型医療施設 59、有料老人ホーム 62、軽費ホーム 72、グループホーム 71、サ高住 70 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

介護職員（在宅）の合計は、292人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+33%であり、介護の充足度は非常に高い。2040年の介護充足度指数は+28%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

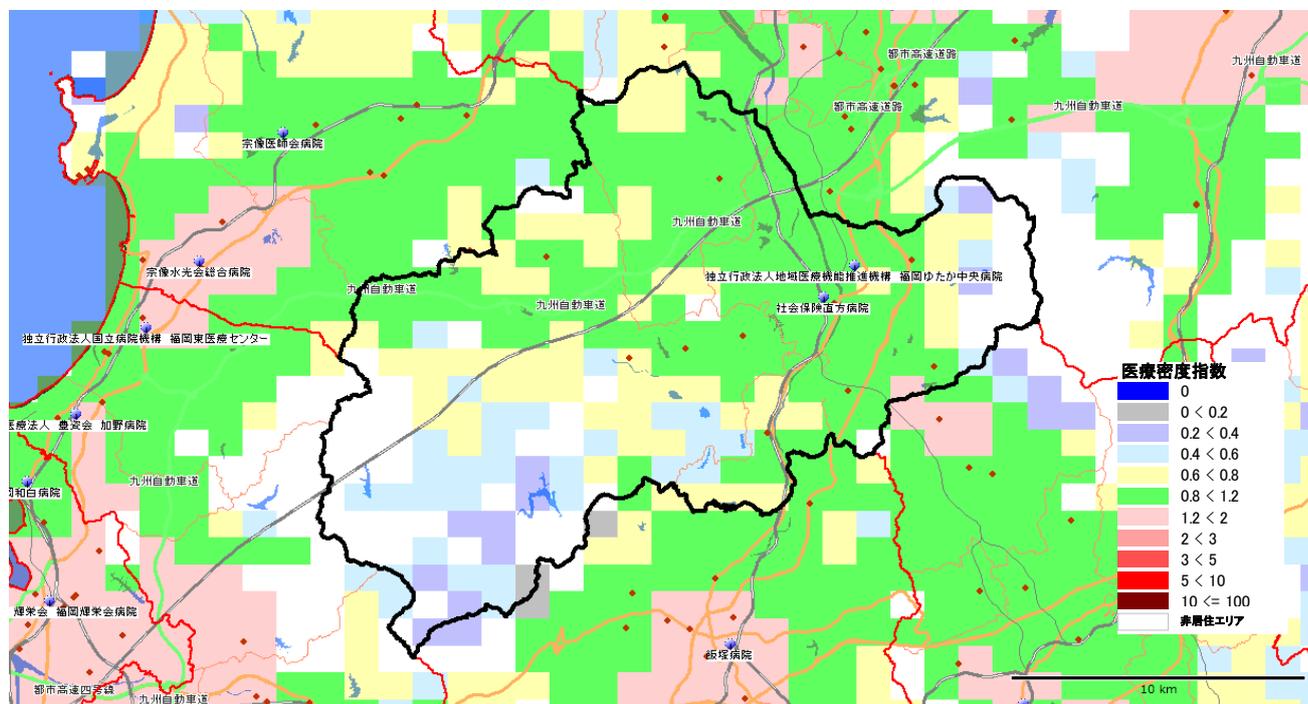
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

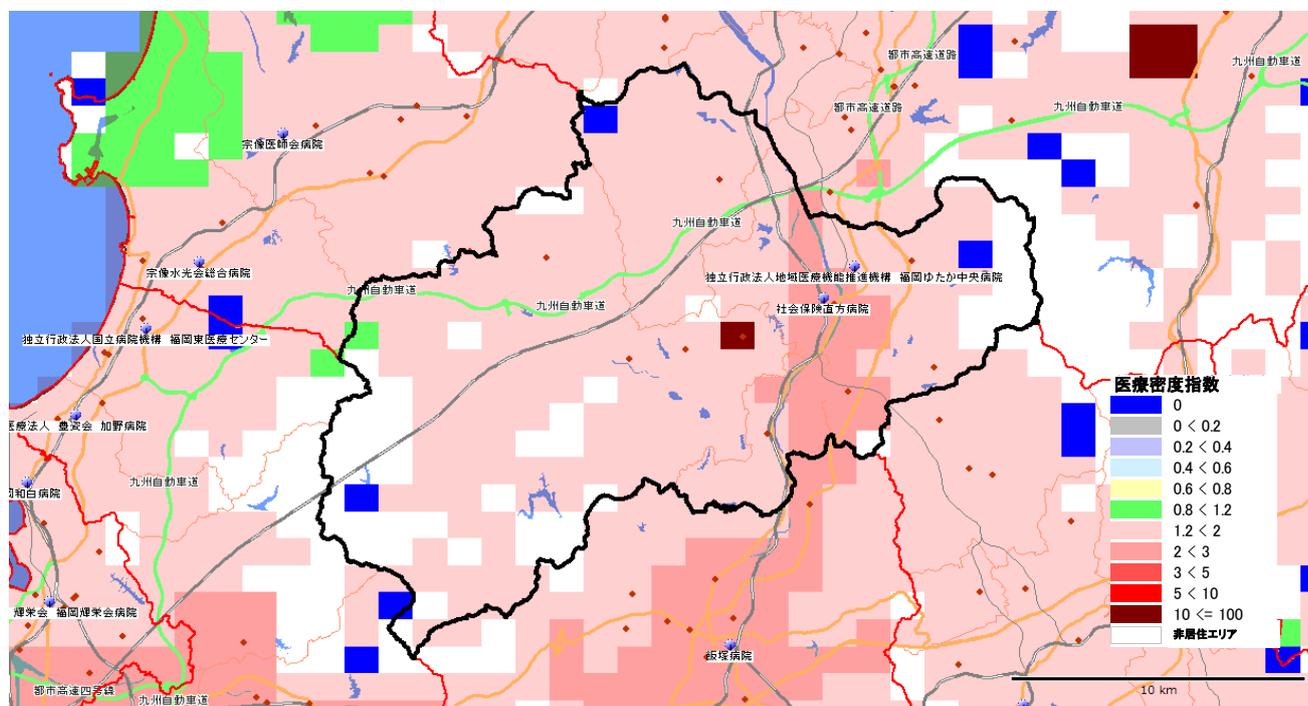
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-10-2 慢性期医療密度指数マップ

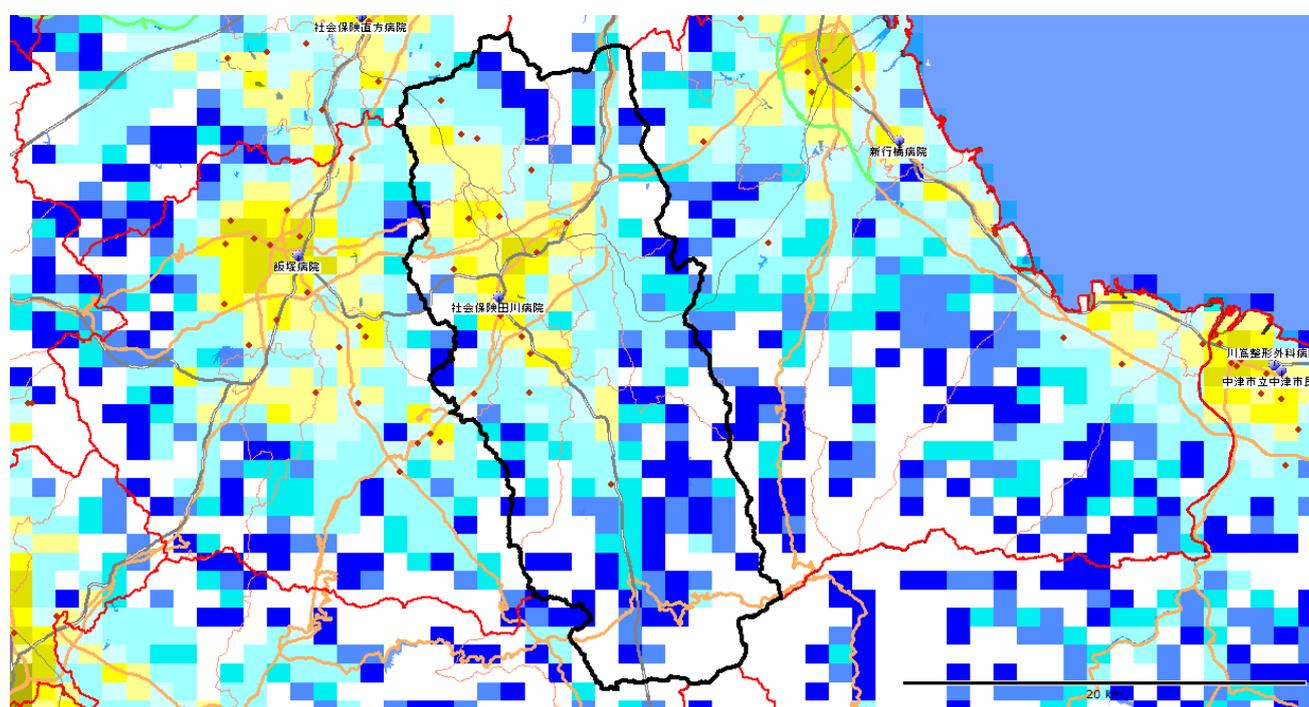


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 40-11. たがわ 田川医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 田川市,香春町,添田町,糸田町,川崎町,大任町,赤村,福智町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 田川医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (田川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 田川(田川市)は、総人口約 128 千人(2015 年推計)、面積 364 km<sup>2</sup>、人口密度は 351 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 田川の総人口は 2025 年に 114 千人へと減少し(2015 年比-11%)、2040 年に 94 千人へと減少する(2025 年比-18%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 22 千人が、2025 年にかけて 25 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 21 千人へと減少する(2025 年比-16%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 田川の一人当たり医療費(国保)は 332 千円(偏差値 55)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 田川の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.93、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.89 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 48(病院医師数 48、診療所医師数 49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 54 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。田川には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の社会保険田川病院がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 55 とやや多く、回復期病床数は偏差値 48 と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 106 で精神病床数は非常に多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 53 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 田川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3473 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 89)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2191 床(偏差値 82)、高齢者住宅等が 1282 床(偏差値 65)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2365 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 73)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 74、特別養護老人ホーム 79、介護療養型医療施設 45、有料老人ホーム 52、軽費ホーム 56、グループホーム 93、サ高住 42 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 48 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 47 とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、733 人（75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 87）で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+45%であり、介護の充足度は非常に高い。2040 年の介護充足度指数は+46%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

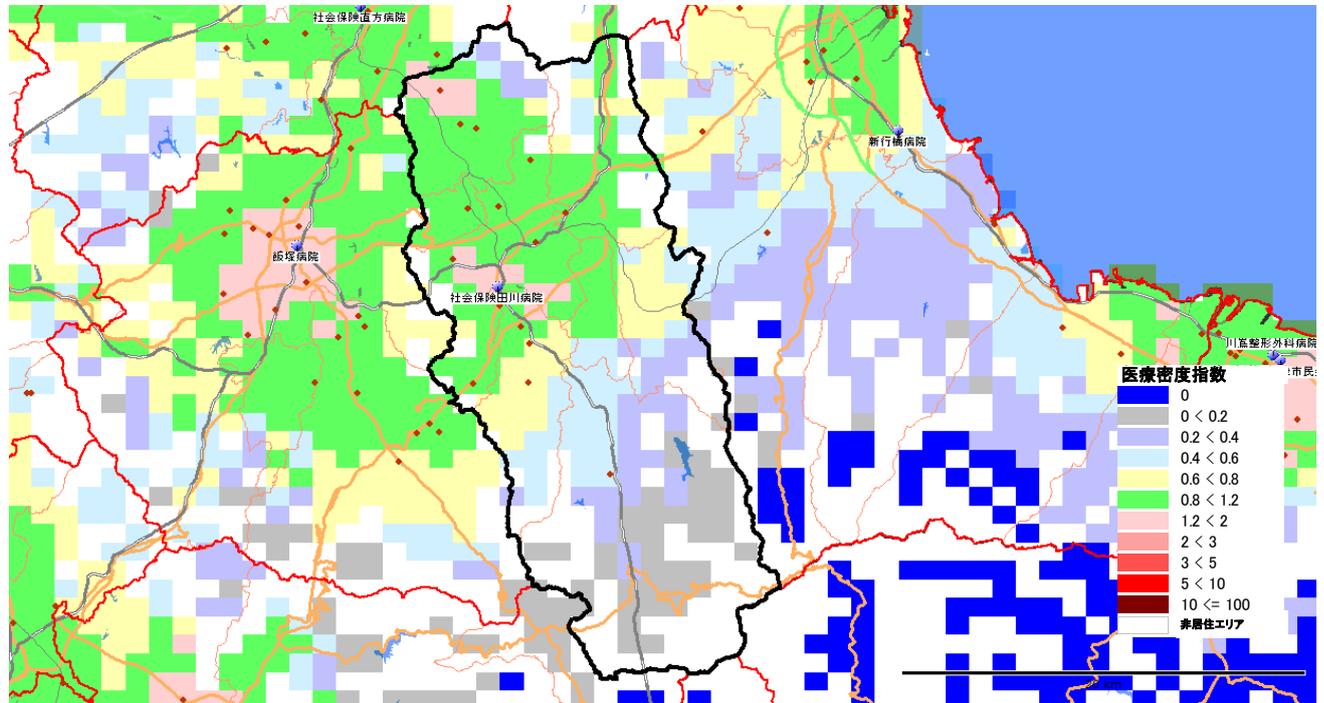
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均（95.5 床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

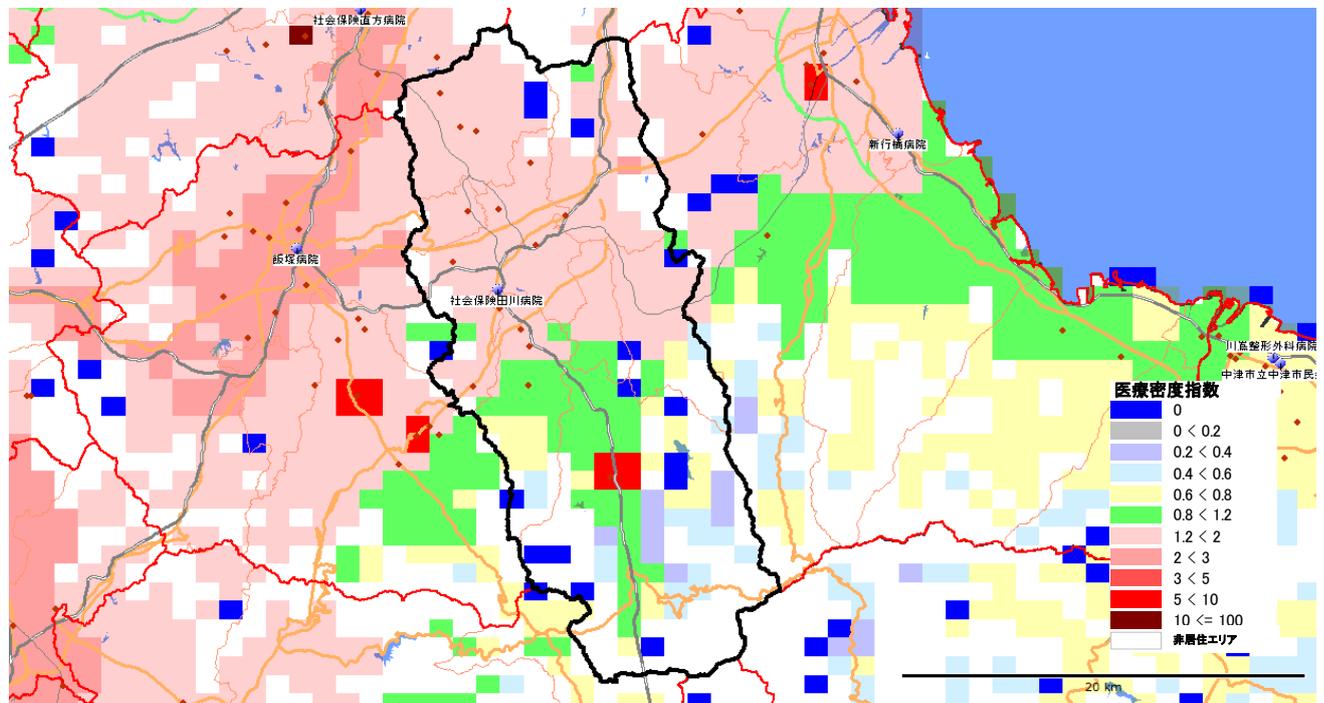
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-11-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-11-2 慢性期医療密度指数マップ

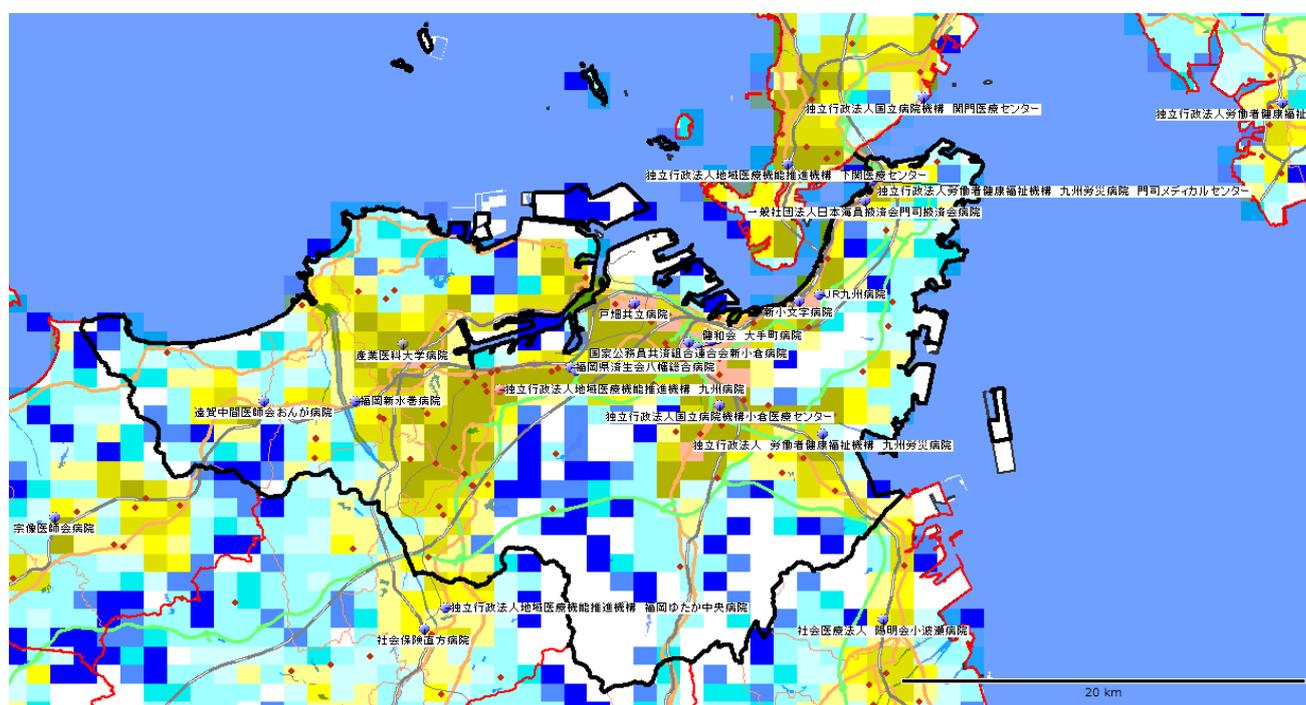


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 40-12. きたきゅうしゅう 北九州医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 門司区,若松区,戸畑区,小倉北区,小倉南区,八幡東区,八幡西区,中間市,芦屋町,水巻町,岡垣町,遠賀町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 北九州医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## (北九州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北九州(北九州市)は、総人口約 1098 千人(2015 年推計)、面積 597 km<sup>2</sup>、人口密度は 1839 人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北九州の総人口は 2025 年に 1028 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 888 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 164 千人が、2025 年にかけて 213 千人へと増加し(2015 年比+30%)、2040 年には 204 千人へと減少する(2025 年比-4%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北九州の一人当たり医療費(国保)は 364 千円(偏差値 63)、介護給付費は 270 千円(偏差値 55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北九州の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.39、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.9 で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 58(病院医師数 60、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 64 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 63 と多い。北九州には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の北九州市立医療センター、九州病院(Ⅱ群)、産業医科大学病院(Ⅰ群)、1000 例以上の八幡総合病院、北九州総合病院(救命)、製鉄記念八幡病院、九州労災病院、大手町病院、新小文字病院、小倉医療センター、500 例以上の福岡新水巻病院、戸畑共立病院、新小倉病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 60 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 65 と多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 57 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 59 で診療所数は多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北九州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、15920 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 9452 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 6468 床(偏差値 52)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、12013 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 48、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 51、有料老人ホーム 53、軽費ホーム 54、グループホーム 54、サ高住 44 である。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 59 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 54 とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、2321 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+5%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は-18%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

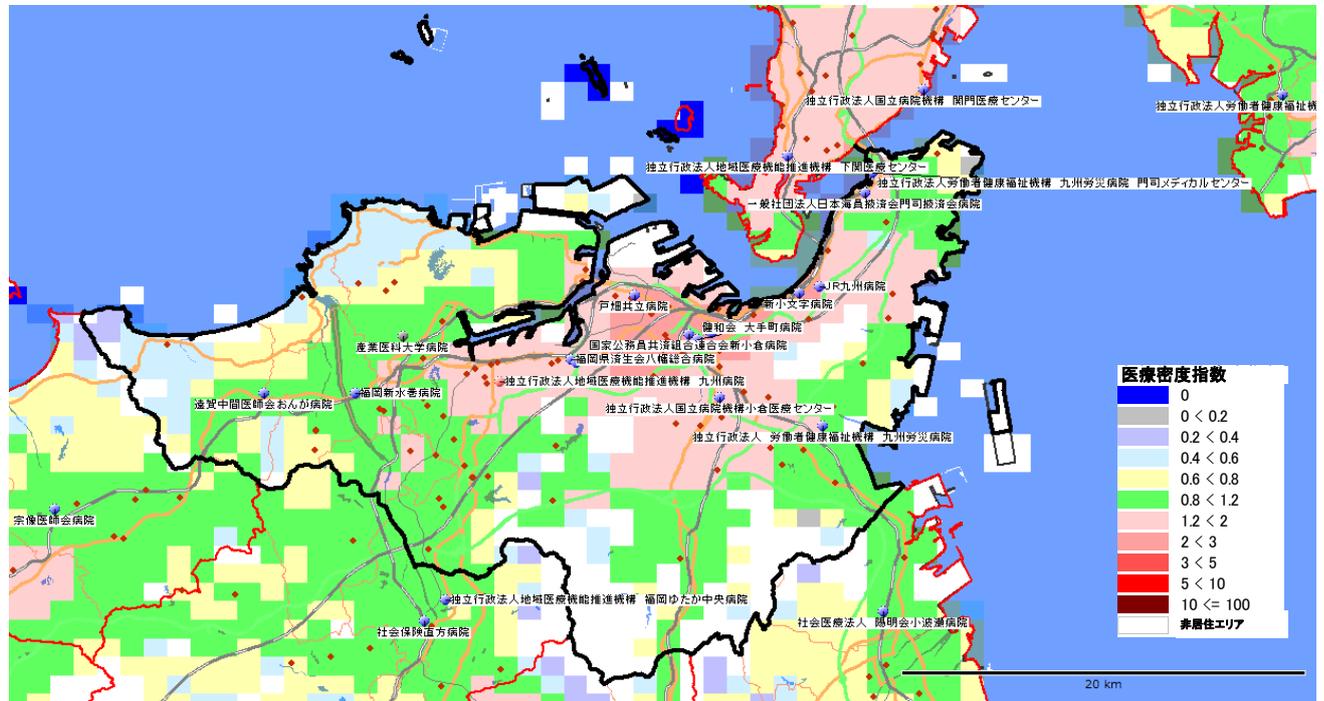
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

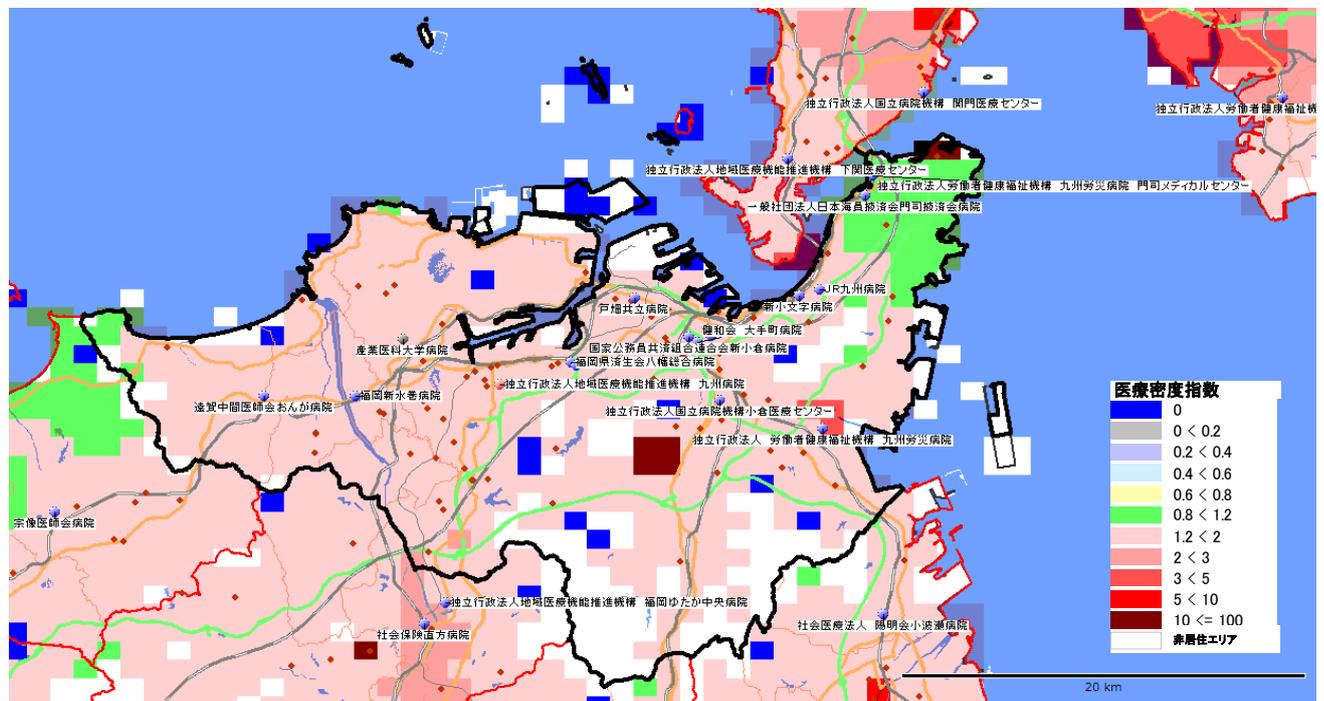
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-12-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。



## (京築医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 京築(行橋市)は、総人口約 185 千人(2015 年推計)、面積 566 km<sup>2</sup>、人口密度は 326 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 京築の総人口は 2025 年に 170 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 144 千人へと減少する(2025 年比-15%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 28 千人が、2025 年にかけて 34 千人へと増加し(2015 年比+21%)、2040 年には 32 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 京築の一人当たり医療費(国保)は 383 千円(偏差値 68)、介護給付費は 238 千円(偏差値 47)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

## 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 京築の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.74、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.6 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 42(病院医師数 39、診療所医師数 50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は 52 と全国平均レベルである。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 36 で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。京築には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の新行橋病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 62 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 56 と多く、回復期病床数は偏差値 58 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 京築の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3347 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 66)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1989 床(偏差値 60)、高齢者住宅等が 1358 床(偏差値 59)である。介護保険施設、高齢者住宅系ともに全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2116 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 51)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 68、特別養護老人ホーム 56、介護療養型医療施設 43、有料老人ホーム 61、軽費ホーム 63、グループホーム 54、サ高住 46 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 58 と多い。介護職員(在宅)の合計は、300 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 46)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

**【医療と介護の需要予測】**

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+25%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+11%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

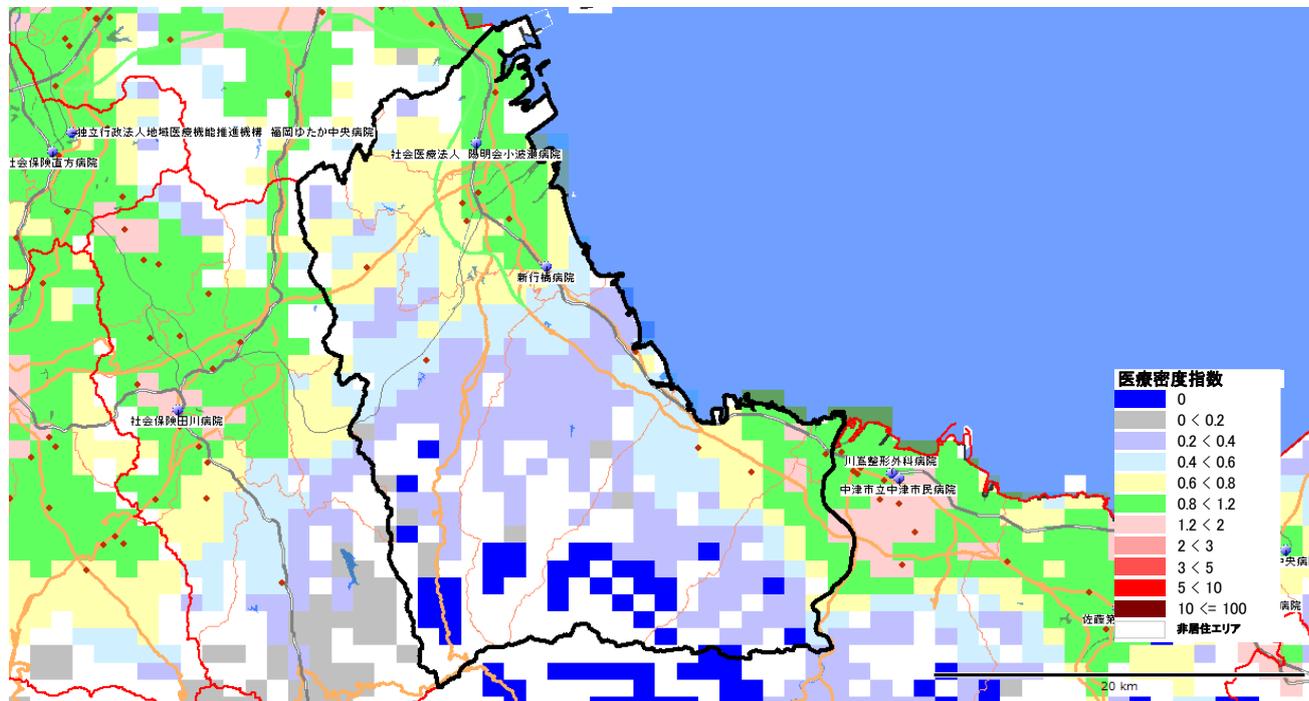
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

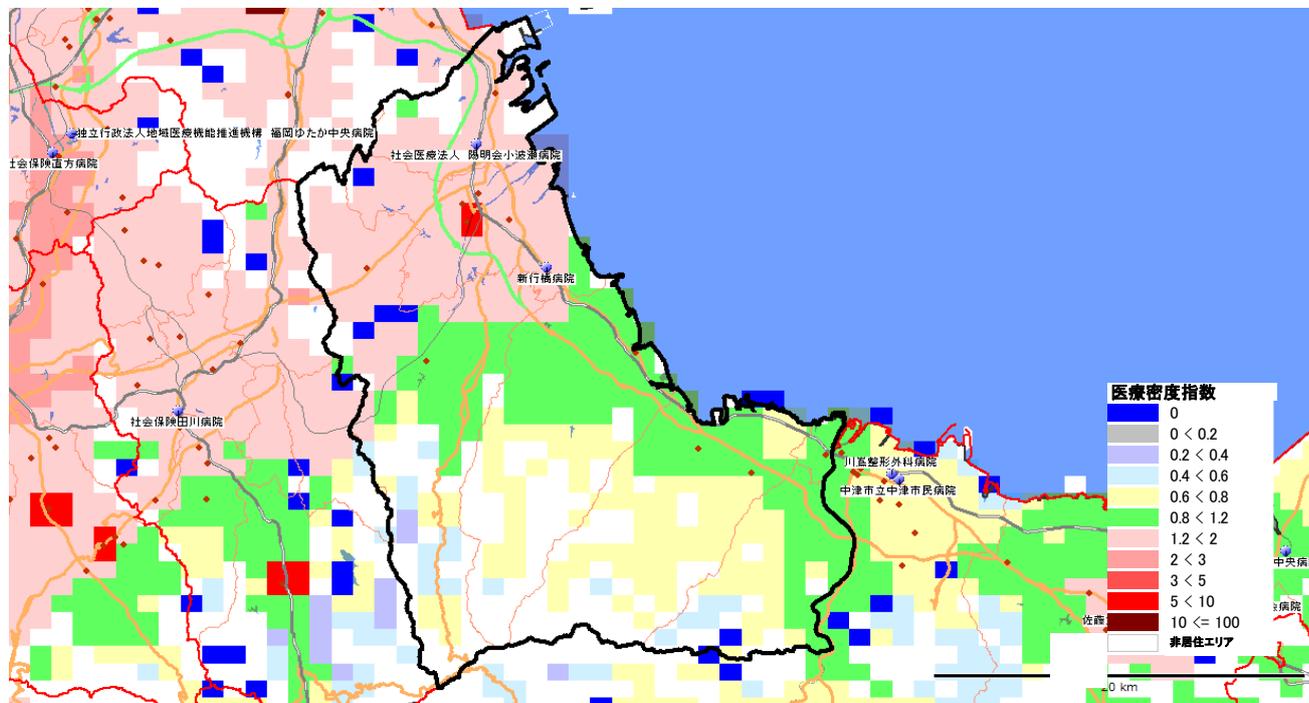
## 40. 福岡県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 40-13-1 急性期医療密度指数マップ



図表 40-13-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。